HAMATITE®

CATALOG No. HTC-015R14

URBAN ROOF

ウレタン防水材シリーズ《アーバンルーフ》

YOKOHAMA

『ニーズをかたちに―ハマタイト』

ハマタイト・ウレタン防水材シリーズ《アーバンルーフ》。横浜ゴムは、1965年にわが国初のウレタン防水材を開発して以来、《アーバンルーフ》シリーズとして、長年蓄積した高分子化学技術を基に、時代のニーズに対応した信頼性の高い商品をラインアップしてきました。

近年、建築物に対して、今まで以上に美しく、かつ長持ちをさせたいというリニューアル意識の高まりと併せて、“快適な居住空間”への関心から、環境負荷低減、高性能などさまざまなニーズが生まれてきています。こうしたニーズに対し環境対応型ウレタン防水材「EU-ONE」従来の性能をそのままに、更に低比重化を図り、「1:1配合比重1.0」の環境対応型2成分形ウレタン防水材「ハマタイトアーバンルーフU-8000」の開発に成功致しました。

《アーバンルーフ》は、横浜ゴムのたゆまぬ研究開発活動を通じて、今後さらに多様化するニーズに、最適な材料、最適な工法で応えていきます。

HAMATITE®
URBAN ROOF

ウレタン防水材シリーズ《アーバンルーフ》

アーバンルーフ工法・仕様適用表 ―― 4
アーバンルーフ工法の特徴 ―― 5
アーバンルーフX工法　国土交通省仕様(環境対応型工法) ―― 6
アーバンルーフ通気緩衝工法(環境対応型工法) ―― 7
アーバンルーフ密着工法(環境対応型工法) ―― 8
アーバンルーフベランダ工法(環境対応型工法) ―― 9
アーバンルーフEU工法(環境対応型工法) ―― 10
アーバンルーフ立上り工法(環境対応型工法) ―― 11
アーバンルーフX工法 国土交通省仕様 ―― 12
アーバンルーフ都市再生機構仕様 ―― 13
アーバンルーフC工法 ―― 14
アーバンルーフCB工法 ―― 15
アーバンルーフHVS工法 ―― 15
アーバンルーフCV-F工法 ―― 16
アーバンルーフUM工法 ―― 17
アーバンルーフSP工法 ―― 18
アーバンルーフCB-EU工法 ―― 19
アーバンルーフC-EU工法 ―― 19
アーバンルーフ立上り工法 ―― 20
アーバンルーフCV-F工法の納り図 ―― 21
アーバンルーフHVS工法の納り図 ―― 21
アーバンルーフUM工法の納り図 ―― 21
各部の納り図 ―― 22
アーバンルーフ防水材料について ―― 23
プライマー ―― 25
接着剤 ―― 25
トップコート ―― 26
副資材 ―― 28
アーバンルーフ材料技術資料 ―― 32
アーバンルーフ施工手順 ―― 34
アーバンルーフ施工上の注意点 ―― 38
材料使用上の注意 ―― 40
ウレタン塗膜防水の維持管理のお願い ―― 42
ウレタン塗膜防水　露出工法の使用上の注意 ―― 42
ウレタン防水材料取扱い上の注意事項 ―― 43
アーバンルーフ製品一覧 ―― 44

U-8000 は、エコと作業性の両立を実現しました。

横浜ゴムは、1.環境負荷の低減、2.環境保全への取り組み、3.社会への貢献を環境基本方針として掲げており、当社は環境保全の国際規格である「ISO14001」の認証を国内全事業所と主要グループ会社で取得しております。

昨今、建築関連資材において環境に配慮した材料のニーズが高まる中、従来の「U-8000」の性能をそのままに、更に低比重化を図り、**「1:1配合、比重1.0」**の環境対応型2成分形ウレタン防水材「ハマタイト アーバンルーフ U-8000」の開発に成功致しました。

従来の「U-8800ECO」と同様、トルエン、キシレン等の有機溶剤を取り除くことにより、従来品と比較して大幅に臭気の低減が可能となりました。

又、水性系のプライマー、トップコート採用することにより、工事中の作業者及び居住者の方にも安心してご採用頂けます。

ウレタン防水材シリーズ〈アーバンルーフ〉は、横浜ゴムのたゆまぬ研究開発活動を通して、今後も更に環境に配慮した材料、工法で応えていきます。

環境対応型ウレタン防水材「U-8000」とは

溶　剤

有害な有機溶剤「トルエン」・「キシレン」等を含んでおりません。※1
当社従来品と比較して大幅に臭気を低減しました。

※1「労働安全衛生法施行令 別表第6-2」に規定されている溶剤

環境ホルモン

人体に影響を及ぼす環境ホルモンを使用しておりません。※2

※2 環境庁・環境ホルモン戦略計画SPEED'98における「内分泌撹乱作用を有すると疑われる化学物質」

VOC（揮発性有機化合物）

厚生労働省の「室内空気ガイドライン」に定められた
13の化学物質（揮発性有機化合物）を使用しておりません。

対象物質	U-8000
ホルムアルデヒド	使用しておりません
トルエン	使用しておりません
キシレン	使用しておりません
パラジクロロベンゼン	使用しておりません
エチルベンゼン	使用しておりません
スチレン	使用しておりません
クロルピリホス	使用しておりません
フタル酸ジ-n-ブチル	使用しておりません
テトラデカン	使用しておりません
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	使用しておりません
ダイアジノン	使用しておりません
アセトアルデヒド	使用しておりません
フェノブカルブ	使用しておりません

⚠注意
弊社ウレタン防水材は、室内の防水材に求められる性能等を考慮して
材料設計をしておりませんので、室内への使用を避けてください。

アーバンルーフ工法・仕様適用表

用途	区分			仕様名	平均膜厚	屋上	ベランダ	塔屋	庇
屋外	露出	密着	歩行	X-2	3.0	◎	○	◎	◎
				C-2	2.0	◎	○	◎	◎
				C-3	3.0	◎	○	◎	◎
				C-4	4.0	◎	○	◎	◎
				C-2E	2.0	◎	○	◎	◎
				C-3E	3.0	◎	○	◎	◎
				C-4E	4.0	◎	○	◎	◎
				C-3EU	3.0	◎	○	◎	◎
				EU-3.0	3.0	◎	○	◎	◎
				CB-1.6	1.6	△	◎	○	◎
				CB-2.0	2.0	△	◎	○	◎
				CB-1.6E	1.6	△	◎	○	◎
				CB-2.0E	2.0	△	◎	○	◎
				EUB-1.5	1.5	△	◎	○	◎
				EUB-2.0	2.0	△	◎	○	◎
				CB-1.5EU	1.5	△	◎	○	◎
				CB-2.0EU	2.0	△	◎	○	◎
		通気緩衝	歩行	X-1	3.0	◎	△	○	△
				CV-F C2	2.0	◎	△	○	△
				CV-F C3	3.0	◎	△	○	△
				CV-F C4	4.0	◎	△	○	△
				CV-F C2E	2.0	◎	△	○	△
				CV-F C3E	3.0	◎	△	○	△
				CV-F C4E	4.0	◎	△	○	△
				UM-C2	2.0	◎	△	○	△
				UM-C3	3.0	◎	△	○	△
				UM-C4	4.0	◎	△	○	△
				HVS-C2	2.0	◎	△	○	△
				HVS-C3	3.0	◎	△	○	△
				HVS-C4	4.0	◎	△	○	△
		密着	スポーツ	SP-1	10.0	◎	—	—	—
				SP-2	6.0	◎	—	—	—
				SP-3	6.1	◎	—	—	—
		密着	立上り	C-立上り	2.0				
				CE-立上り	2.0				
				CEU-立上り	2.0				
				EU-立上り	2.0				

◎ 最適　○ 適用可能　△ 条件付きで適用可能　— 適用外

※ 官公庁仕様の各工法は、必ず各仕様書に記載された施工箇所にご使用ください。

※ 弊社ウレタン防水材は、室内の防水材に求められる性能等を考慮して材料設計をしておりませんので、室内への使用を避けてください。

アーバンルーフ工法の特徴

環境対応型工法

●アーバンルーフX工法 …… 国土交通省「公共建築工事標準仕様書 平成22年版」に採用されているX-1、X-2に適用する工法で、環境対応型防水材を採用することにより環境対応型防水工法となります。

●アーバンルーフCV-F工法 …… 不織布を使用した通気緩衝シート（CV-Fシート、CV-Fシートグリーン）を用いて下地からの水分の影響を防ぎ、フクレを防止し、なおかつ下地の挙動等による防水層の破断を防ぐ脱気絶縁工法です。防水層を2成分形の環境対応型カラーウレタンで形成するため、環境対応型防水工法となります。

●C-E工法 …… 防水層を2成分形の環境対応型カラーウレタンで形成する環境対応型防水工法です。補強クロス入りで耐久性に優れ、歩行用に対応できます。

●アーバンルーフEUB工法 …… ベランダやバルコニーなどの小面積向けの工法です。防水層を1成分形の環境対応型カラーウレタンで形成するため、環境対応型防水工法となります。

●アーバンルーフCB-E工法 …… ベランダやバルコニーなどの小面積向けの工法です。防水層を2成分形の環境対応型カラーウレタンで形成するため、環境対応型防水工法となります。

●アーバンルーフ立上り工法 …… 各工法の立上りに施工する工法です。環境対応型防水材を採用することにより環境対応型防水工法となります。

一般工法

●アーバンルーフX工法 …… 国土交通省「公共建築工事標準仕様書　平成22年版」に採用されているX-1、X-2に適用する工法です。

●アーバンルーフC工法 …… 防水層を2成分形のカラーウレタン（1:1配合）で形成する工法です。補強クロス入りで耐久性に優れ、歩行用に対応できます。

●アーバンルーフC-EU工法 …… 防水層を1成分形のカラーウレタンで形成する工法です。補強クロス入りで耐久性に優れ、歩行用に対応できます。

●アーバンルーフCB工法 …… ベランダやバルコニーなどの小面積向けの工法です。防水層を2成分形のカラーウレタン（1:1配合）で形成するため、歩行用に対応できます。

●アーバンルーフCB-EU工法 …… ベランダやバルコニーなどの小面積向けの工法です。防水層を1成分形のカラーウレタンで形成するため、歩行用に対応できます。

●アーバンルーフCV-F工法 …… 不織布を使用した通気緩衝シート（CV-Fシート、CV-Fシートグリーン）を用いて下地からの水分の影響を防ぎ、フクレを防止し、なおかつ下地挙動等による防水層の破断を防ぐ脱気絶縁工法です。

●アーバンルーフUM工法 …… シート表面に防水性を有した自着層付きの通気緩衝シート(UMシート)を用いて下地からの水分の影響を防ぎ、フクレを防止し、なおかつ下地挙動等による防水層の破断を防ぐ脱気絶縁複合防水工法です。

●アーバンルーフHVS工法 …… シートの表面に防水性を有した通気緩衝シート（HVSシートグリーン）を用いて下地からの水分の影響を防ぎ、フクレを防止し、なおかつ下地挙動等による防水層の破断を防ぐ脱気絶縁複合防水工法です。

●アーバンルーフSP工法 …… ウレタン防水の特徴を生かし、各種スポーツに対応が可能な工法です。用途に応じて3つの工法があります。

●アーバンルーフ立上り工法 …… 各工法の立上りに施工する工法です。

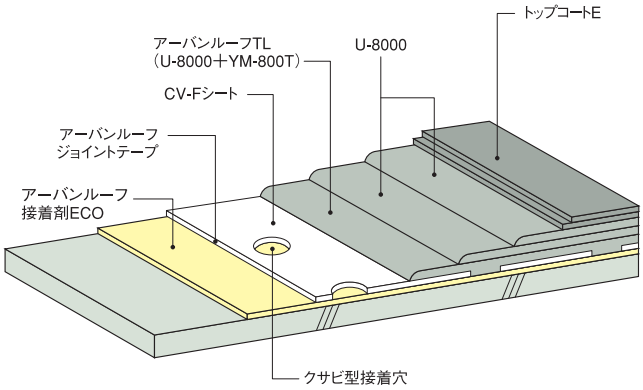
アーバンルーフX工法（環境対応型工法）　国土交通省仕様（平成22年版）

■X-1工法（平均膜厚3.0mm）

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C3E	3.0mm	1	アーバンルーフ接着剤ECO	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	U-8000	1.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²
		8	トップコートE	0.1kg/m²

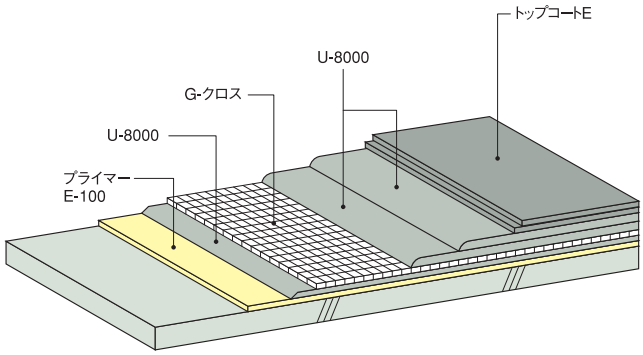
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C3E	3.0mm	1	アーバンルーフ接着剤ECO	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000+YM-800T	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.1kg/m²
		6	U-8000	1.0kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²
		8	トップコートE	0.1kg/m²

※ CV-Fシートグリーンも CV-Fシートと同様に使用できます。



■X-2工法（平均膜厚3.0mm）

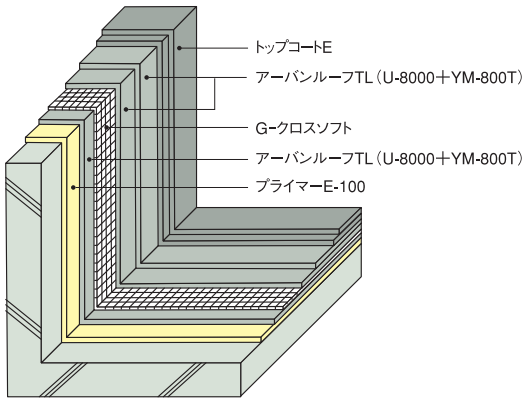
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-3E	3.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²



■X-立上り工法（平均膜厚2.0mm）

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CE-立上り	2.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	アーバンルーフTL	0.4kg/m²
		3	Gクロスソフト	1.0m²
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CE-立上り	2.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	U-8000+YM-800T	0.3kg/m²
		3	Gクロスソフト	1.0m²
		4	U-8000+YM-800T	0.9kg/m²
		5	U-8000+YM-800T	0.8kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²

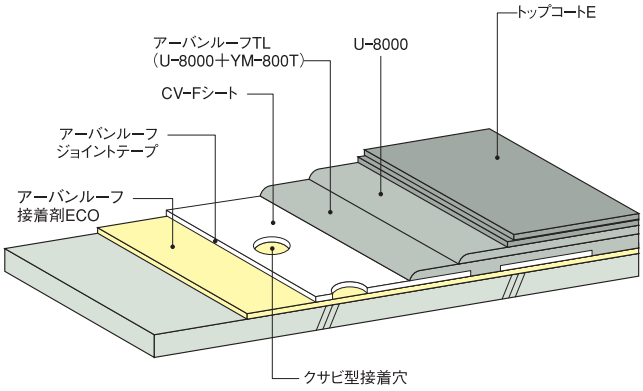


（注）上記材料使用量は国土交通省「公共建築工事標準仕様書　平成22年版」に基づき、当社材料の単位容積質量（比重）にて換算した実際の使用量を記載しています。他の材料での使用量及びご不明な点がございましたら、弊社販売員までお問い合わせください。

アーバンルーフ通気緩衝工法（環境対応型工法）　歩行用

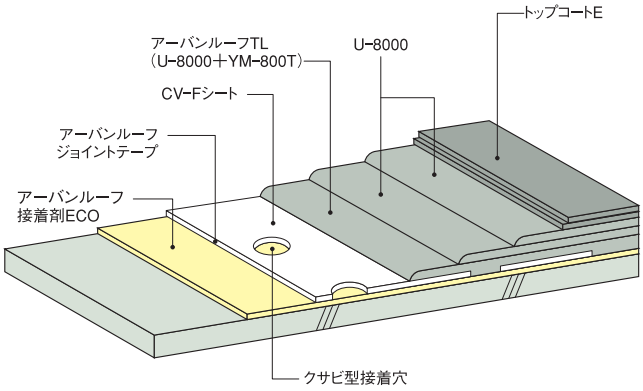
■CV-F工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C2E	2.0mm	1	アーバンルーフ接着剤ECO	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	U-8000	1.3kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²



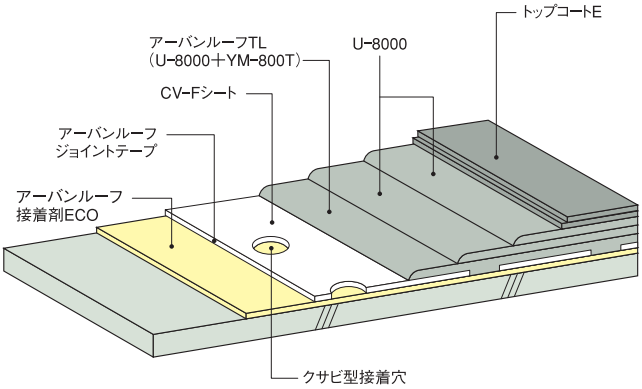
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C2E	2.0mm	1	アーバンルーフ接着剤ECO	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000+YM-800T	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.1kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C3E	3.0mm	1	アーバンルーフ接着剤ECO	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	U-8000	1.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²
		8	トップコートE	0.1kg/m²



工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C3E	3.0mm	1	アーバンルーフ接着剤ECO	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000+YM-800T	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.1kg/m²
		6	U-8000	1.0kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²
		8	トップコートE	0.1kg/m²

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C4E	4.0mm	1	アーバンルーフ接着剤ECO	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	U-8000	1.7kg/m²
		6	U-8000	1.6kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²
		8	トップコートE	0.1kg/m²



工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C4E	4.0mm	1	アーバンルーフ接着剤ECO	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000+YM-800T	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.6kg/m²
		6	U-8000	1.5kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²
		8	トップコートE	0.1kg/m²

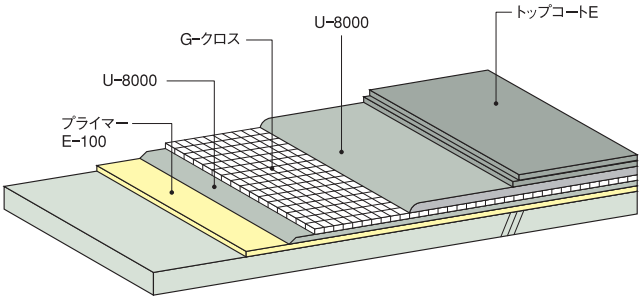
※ 立上りはCE-立上り工法となります。（P11参照）
※ CV-FシートグリーンもCV-Fシートと同様に使用できます。

アーバンルーフ密着工法（環境対応型工法）

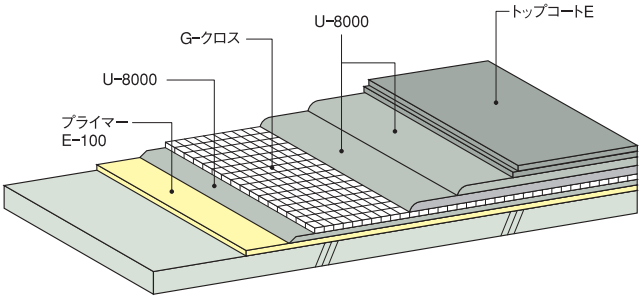
歩行用

■C-E工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-2E	2.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.7kg/m²
		5	トップコートE	0.1kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²

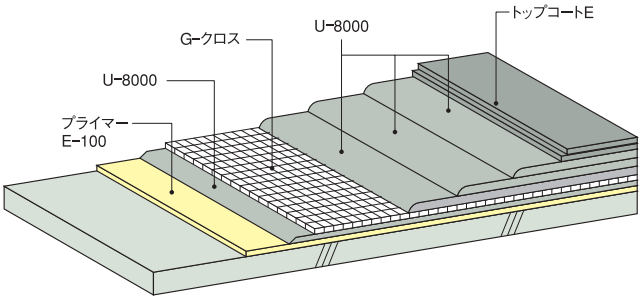


工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-3E	3.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²



工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-4E	4.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	U-8000	1.0kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²
		8	トップコートE	0.1kg/m²

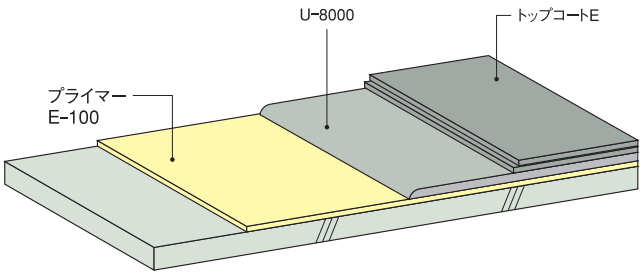
※ 立上りはCE-立上り工法となります。（P11参照）



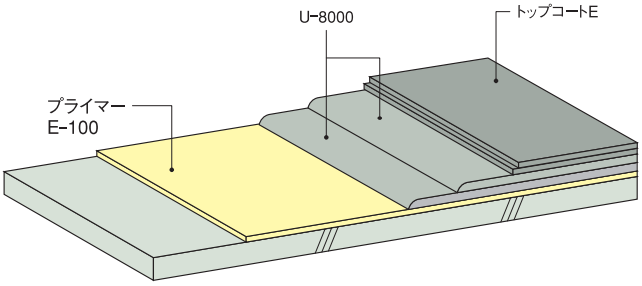
アーバンルーフベランダ工法（環境対応型工法）　歩行用

■CB-E工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CB -1.6E	1.6mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	U-8000	1.6kg/m²
		3	トップコートE	0.1kg/m²
		4	トップコートE	0.1kg/m²



工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CB -2.0E	2.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	U-8000	1.0kg/m²
		3	U-8000	1.0kg/m²
		4	トップコートE	0.1kg/m²
		5	トップコートE	0.1kg/m²



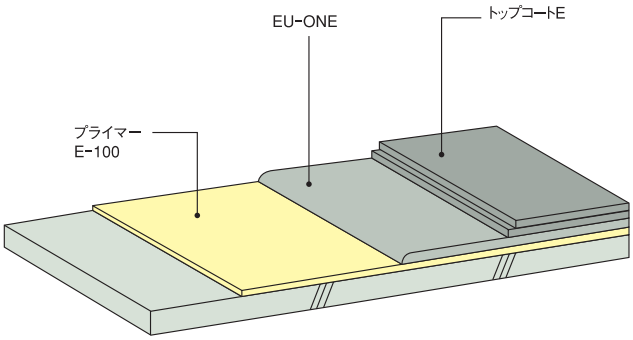
※ 立上りはCE-立上り工法となります。（P11参照）

※ 下地の勾配等の施工条件により、規定の膜厚が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整をしてください。

アーバンルーフEU工法（環境対応型工法：1成分形工法）　歩行用

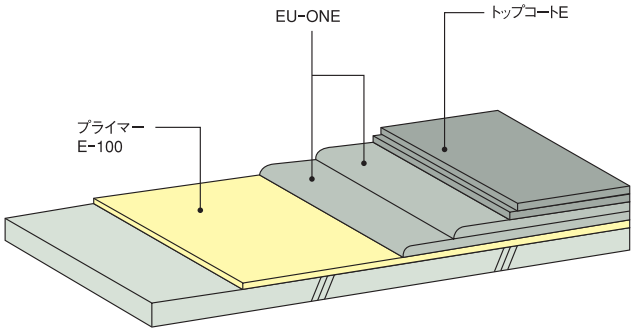
■EUB-1.5工法（ベランダ工法）

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
EUB -1.5	1.5mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	EU-ONE	2.0kg/m²
		3	トップコートE	0.1kg/m²
		4	トップコートE	0.1kg/m²



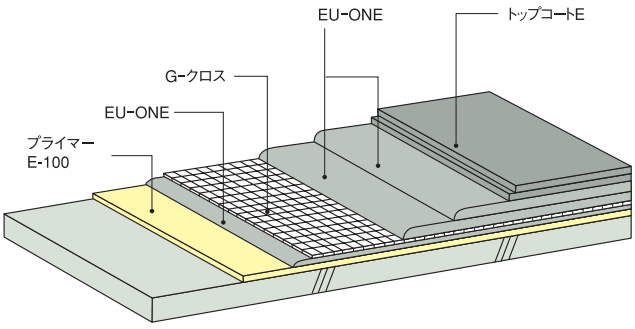
■EUB-2.0工法（ベランダ工法）

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
EUB -2.0	2.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	EU-ONE	1.3kg/m²
		3	EU-ONE	1.3kg/m²
		4	トップコートE	0.1kg/m²
		5	トップコートE	0.1kg/m²



■EU-3.0工法（X-2工法）

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
EU-3.0	3.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	EU-ONE	0.4kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	EU-ONE	1.8kg/m²
		5	EU-ONE	1.7kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²

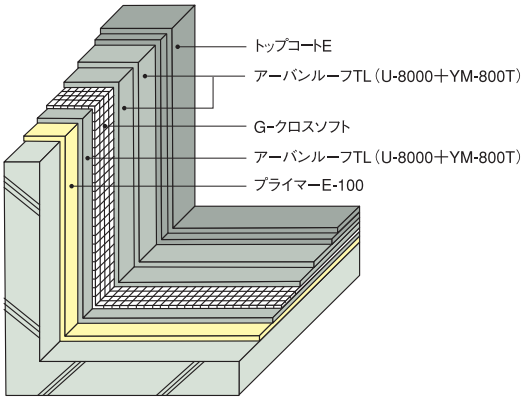


アーバンルーフ立上り工法（環境対応型工法）

歩行用

■CE-立上り工法（平均膜厚2.0mm）

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CE-立上り	2.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	アーバンルーフTL	0.4kg/m²
		3	Gクロスソフト	1.0m²
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²

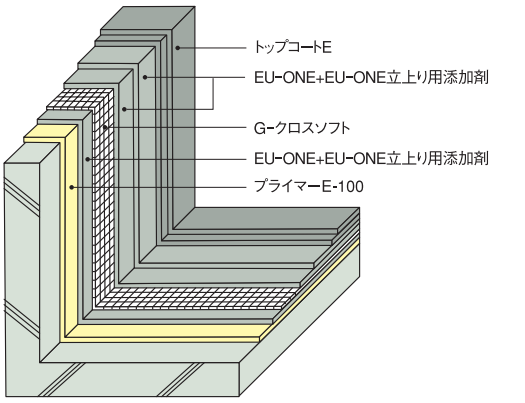


工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CE-立上り	2.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	U-8000+YM-800T	0.3kg/m²
		3	Gクロスソフト	1.0m²
		4	U-8000+YM-800T	0.9kg/m²
		5	U-8000+YM-800T	0.8kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²

■EU-立上り工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
EU-立上り	2.0mm	1	プライマーE-100	0.2kg/m²
		2	EU-ONE+EU-ONE立上り用添加剤	0.4kg/m²
		3	G-クロスソフト	1.0m²
		4	EU-ONE+EU-ONE立上り用添加剤	1.1kg/m²
		5	EU-ONE+EU-ONE立上り用添加剤	1.1kg/m²
		6	トップコートE	0.1kg/m²
		7	トップコートE	0.1kg/m²

※ EU-ONE立上り添加剤の取扱い方法はP24をご参照ください。



アーバンルーフX工法

国土交通省仕様（平成22年版）

■X-1工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
HVS-C3	3.0mm	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
		2	HVSシートグリーン	1.0m²
		3	UMシート用ジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.5kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²

※ シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C3	3.0mm	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	U-8000	1.1kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C3	3.0mm	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000＋YM-800T	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.1kg/m²
		6	U-8000	1.0kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²

※ CV-FシートグリーンもCV-Fシートと同様に使用できます。

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
UM-C3	3.0mm	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
		2	UMシート	1.0m²
		3	UMシート用ジョイントテープ※	1.0m
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.5kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²

※ シート短手方向にはUMシート用ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。
※ シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。

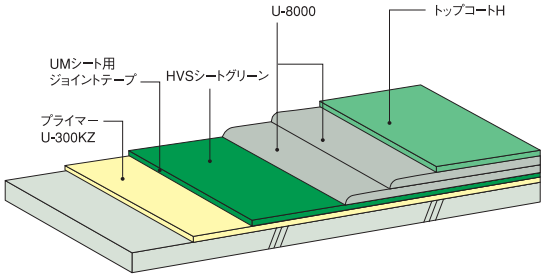
■X-2工法

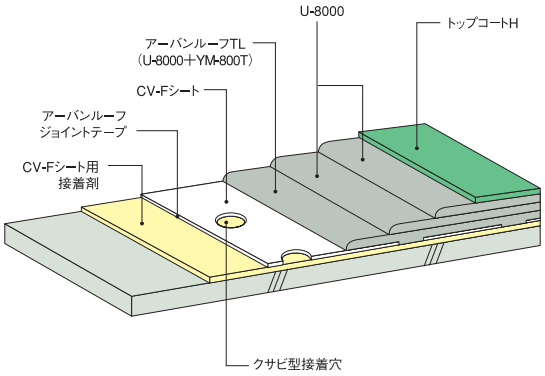
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-3	3.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²

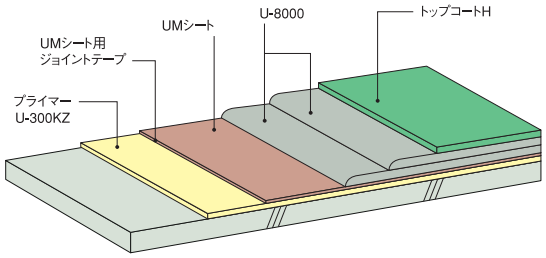
■X-立上り工法

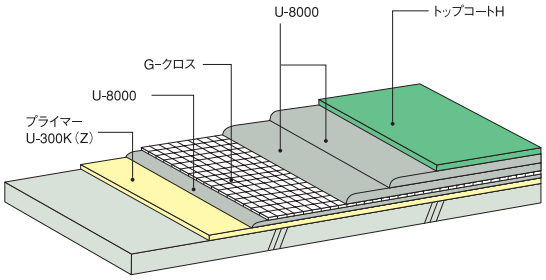
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-立上り	2.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	アーバンルーフTL	0.4kg/m²
		3	G-クロスソフト	1.0m²
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²

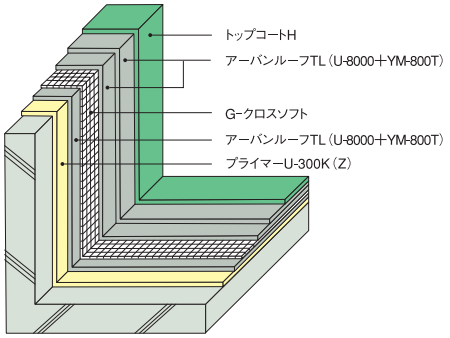
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-立上り	2.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000＋YM-800T	0.3kg/m²
		3	G-クロスソフト	1.0m²
		4	U-8000＋YM-800T	0.9kg/m²
		5	U-8000＋YM-800T	0.8kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²











※ X-2、X立上り工法のプライマーは、U-300K（速乾タイプ）
もしくはU-300KZ（造膜タイプ）のいずれかをご使用ください。

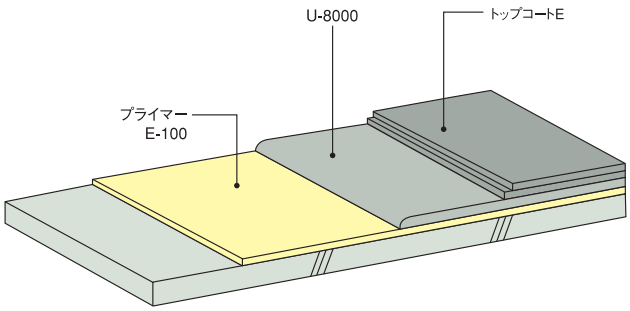
※ U-8000HCもU-8000と同様に使用できます。

（注） 上記材料使用量は国土交通省「公共建築工事標準仕様書　平成22年版」に基づき、当社材料の単位容積質量（比重）にて換算した実際の使用量を記載しています。他の材料での使用量及びご不明な点がございましたら、弊社販売員までお問合わせください。

アーバンルーフ都市再生機構仕様（平成20年版）

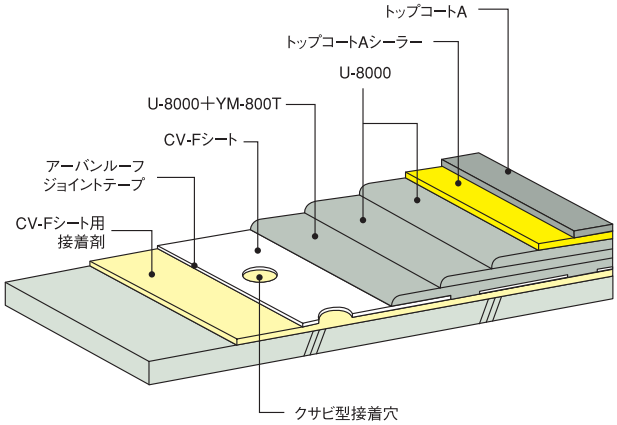
■バルコニー床防水工事

工法	工程	材料	使用量
CB-J工法（通常用）	1	プライマーE-100＋専用粉体	0.15～0.25kg/m²
	2	U-8000 U-8000＋YM-800T（立ち上がり用）	2.5kg/m²
	3	トップコートE、フェライト	0.1kg/m²
	4	トップコートE、フェライト	0.1kg/m²

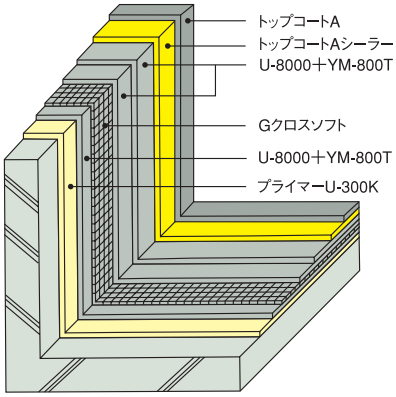


■脱気絶縁複合防水工事

工法	工程	材料	使用量
CV-F-J工法（平場部分）	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
	2	CV-Fシート	—
	3	U-8000＋YM-800T	1.0kg/m²
	4	U-8000	2.0kg/m²
	5	U-8000	1.5kg/m²
	6	トップコートAシーラー	0.15kg/m²
	7	トップコートA	1.0kg/m²



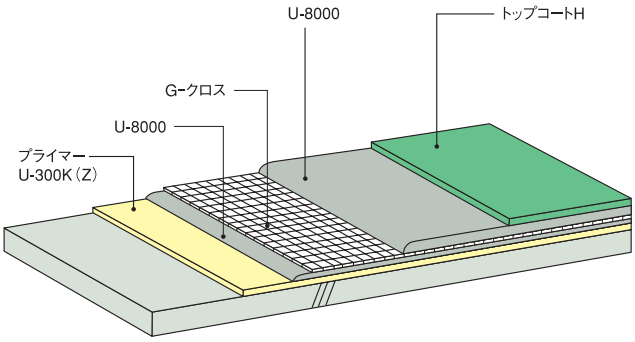
工法	工程	材料	使用量
CV-F-J工法（庇、架台天端および立ち上がり部）	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
	2	U-8000＋YM-800T	0.5kg/m²
	3	G-クロスソフト	—
	4	U-8000＋YM-800T	1.0kg/m²
	5	U-8000＋YM-800T	1.0kg/m²
	6	トップコートAシーラー	0.15kg/m²
	7	トップコートA	1.0kg/m²



アーバンルーフC工法（密着工法）　歩行用

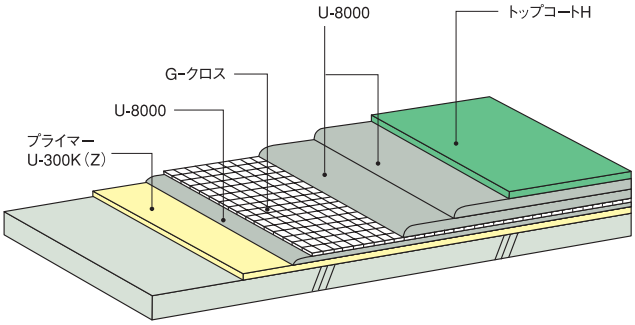
■C-2工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-2	2.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.7kg/m²
		5	トップコートH	0.2kg/m²



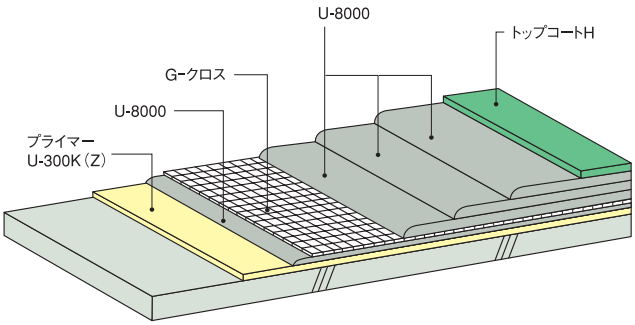
■C-3工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-3	3.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²



■C-4工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-4	4.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	U-8000	1.0kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²



※ 立上りはC-立上り工法となります。（P20参照）

※ U-8000HCもU-8000と同様に使用できます。

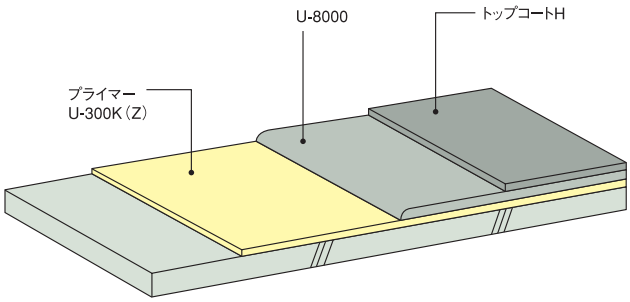
※ プライマーは、U-300K（速乾タイプ）もしくはU-300KZ（造膜タイプ）のいずれかをご使用ください。

※ 下地の勾配等の施工条件により、規定の膜厚が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整をしてください。

アーバンルーフCB工法（ベランダ工法）　歩行用

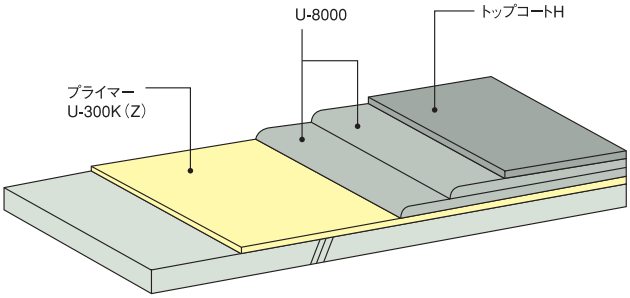
■CB-1.6工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CB-1.6	1.6mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000	1.6kg/m²
		3	トップコートH	0.2kg/m²



■CB-2.0工法

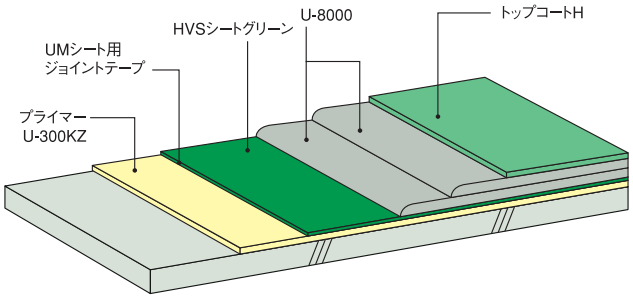
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CB-2.0	2.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000	1.0kg/m²
		3	U-8000	1.0kg/m²
		4	トップコートH	0.2kg/m²



アーバンルーフHVS工法（通気緩衝複合防水工法）　歩行用

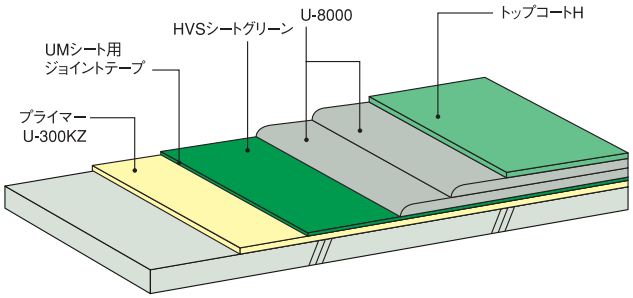
■HVS-C2工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
HVS -C2	2.0mm	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
		2	HVSシートグリーン	1.0m²
		3	UMシート用ジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.0kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²



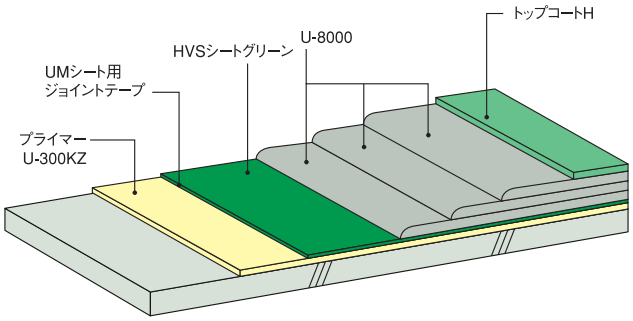
■HVS-C3工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
HVS -C3	3.0mm	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
		2	HVSシートグリーン	1.0m²
		3	UMシート用ジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.5kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²



■HVS-C4工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
HVS -C4	4.0mm	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
		2	HVSシートグリーン	1.0m²
		3	UMシート用ジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.5kg/m²
		6	U-8000	1.0kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²

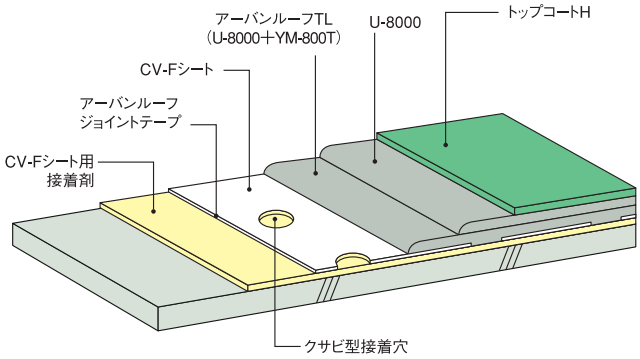


※ 立上りはC-立上り工法となります。（P20参照）
※ U-8000HCもU-8000と同様に使用できます。
※ 立上り用のプライマーは、U-300K（速乾タイプ）もしくはU-300KZ（造膜タイプ）のいずれかをご使用ください。
※ シートの端末部はUM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼り付けてください。
※ 下地の勾配等の施工条件により、規定の膜厚が確保できない場合がありますので状況に応じて塗布量、塗布回数の調整をしてください。

アーバンルーフCV-F工法（通気緩衝工法）　歩行用

■CV-F　C2工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C2	2.0mm	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	U-8000	1.3kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²

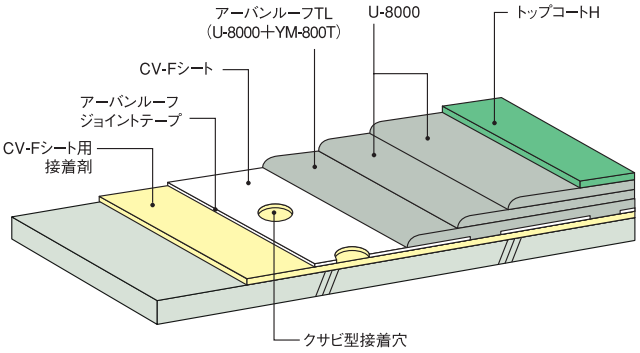


■CV-F　C2工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C2	2.0mm	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000＋YM-800T	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.1kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²

■CV-F　C3工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C3	3.0mm	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	U-8000	1.1kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²

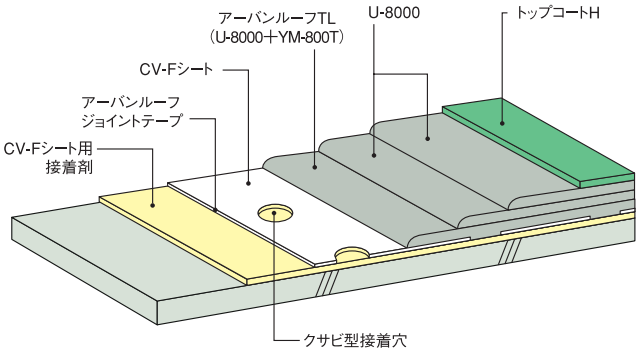


■CV-F　C3工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C3	3.0mm	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000＋YM-800T	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.1kg/m²
		6	U-8000	1.0kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²

■CV-F　C4工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C4	4.0mm	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	U-8000	1.7kg/m²
		6	U-8000	1.6kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²



■CV-F　C4工法

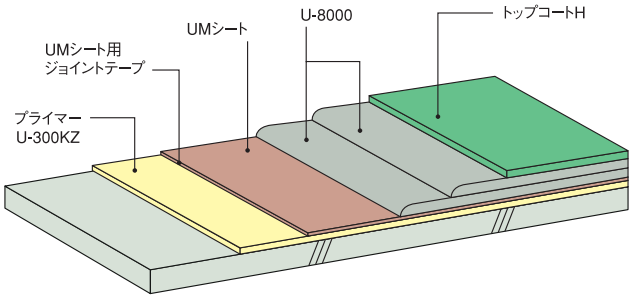
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CV-F C4	4.0mm	1	CV-Fシート用接着剤	0.3kg/m²
		2	CV-Fシート	1.0m²
		3	アーバンルーフジョイントテープ	1.0m
		4	U-8000＋YM-800T	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.6kg/m²
		6	U-8000	1.5kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²

※ 立上りはC-立上り工法となります。（P20参照）
※ U-8000HCもU-8000と同様に使用できます。
※ CV-Fシートグリーンも CV-Fシートと同様に使用できます。

アーバンルーフUM工法（通気緩衝工法）　歩行用

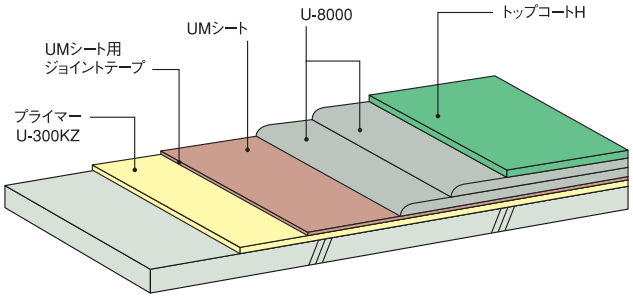
■UM-C2工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
UM-C2	2.0mm	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
		2	UMシート	1.0m²
		3	UMシート用ジョイントテープ※	1.0m
		4	U-8000	1.0kg/m²
		5	U-8000	1.0kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²



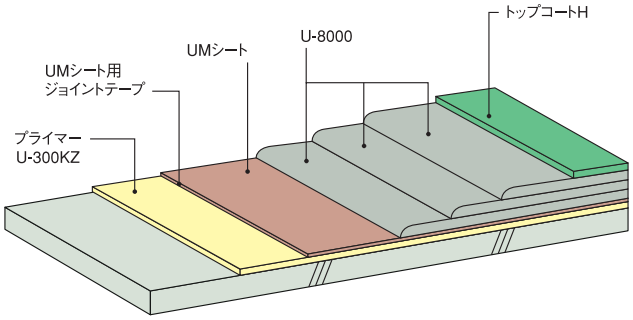
■UM-C3工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
UM-C3	3.0mm	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
		2	UMシート	1.0m²
		3	UMシート用ジョイントテープ※	1.0m
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.5kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²



■UM-C4工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
UM-C4	4.0mm	1	プライマーU-300KZ	0.2kg/m²
		2	UMシート	1.0m²
		3	UMシート用ジョイントテープ※	1.0m
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.5kg/m²
		6	U-8000	1.0kg/m²
		7	トップコートH	0.2kg/m²



※ 立上りはC-立上り工法となります。（P20参照）

※ U-8000HCもU-8000と同様に使用できます。

※ シートの短手方向にはUMシート用ジョイントテープの上にUM補強クロスを貼り付けてください。

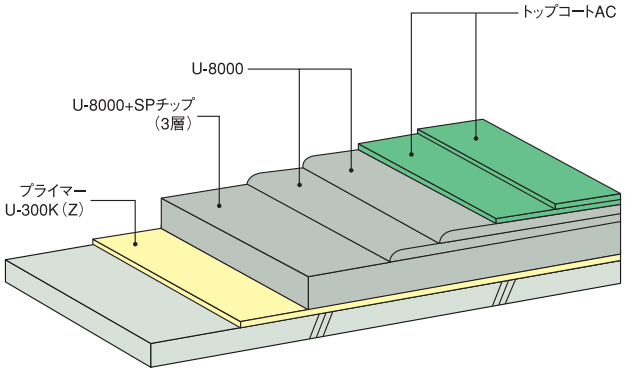
※ シートの端末部は、UM端末テープを貼り、その上からUM補強クロスを貼り付けてください。

アーバンルーフSP工法（スポーツ対応工法）

歩行用

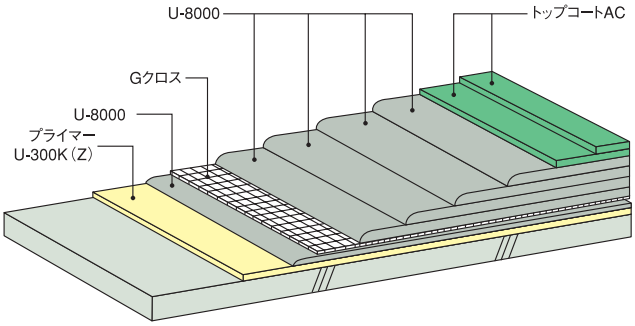
■SP-1工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
SP-1	10.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000+SPチップ	2.2+0.5kg/m²
		3	U-8000+SPチップ	2.2+0.5kg/m²
		4	U-8000+SPチップ	2.2+0.5kg/m²
		5	U-8000	1.3kg/m²
		6	U-8000	1.3kg/m²
		7	トップコートAC	0.2kg/m²
		8	トップコートAC	0.2kg/m²



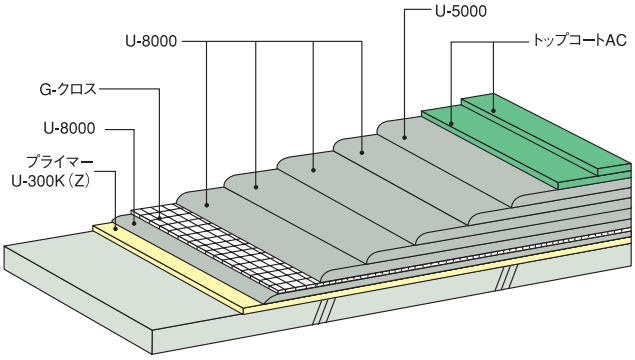
■SP-2工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
SP-2	6.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.5kg/m²
		5	U-8000	1.4kg/m²
		6	U-8000	1.4kg/m²
		7	U-8000	1.4kg/m²
		8	トップコートAC	0.2kg/m²
		9	トップコートAC	0.2kg/m²



■SP-3工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
SP-3	6.1mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000	0.3kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	U-8000	1.2kg/m²
		5	U-8000	1.2kg/m²
		6	U-8000	1.2kg/m²
		7	U-8000	1.2kg/m²
		8	U-5000	1.3kg/m²
		9	トップコートAC	0.2kg/m²
		10	トップコートAC	0.2kg/m²



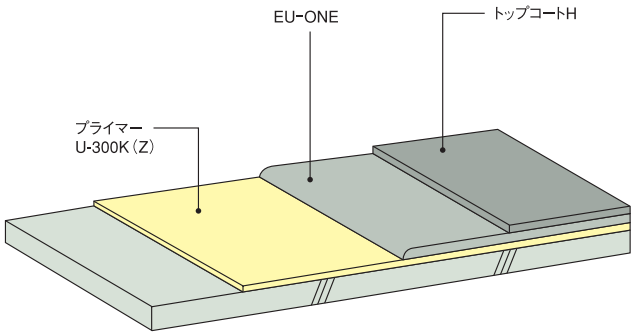
※ 立上りはC-立上り工法となります。（P20参照）

※ プライマーは、U-300K（速乾タイプ）
もしくはU-300KZ（造膜タイプ）のいずれかをご使用ください。

アーバンルーフCB-EU工法（ベランダ工法）　歩行用

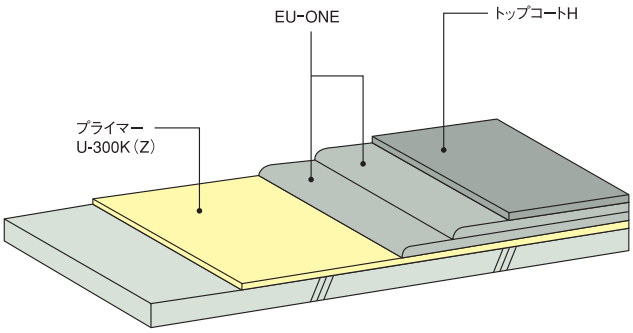
■CB-1.5EU工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CB -1.5EU	1.5mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	EU-ONE	2.0kg/m²
		3	トップコートH	0.2kg/m²



■CB-2.0EU工法

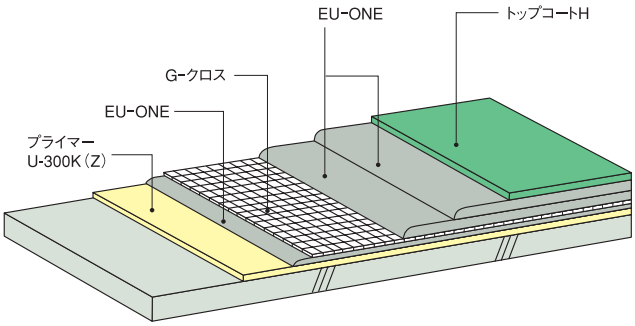
工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CB -2.0EU	2.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	EU-ONE	1.3kg/m²
		3	EU-ONE	1.3kg/m²
		4	トップコートH	0.2kg/m²



アーバンルーフC-EU工法（密着工法）　歩行用

■C-3EU工法（X-2工法）

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-3EU	3.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	EU-ONE	0.4kg/m²
		3	G-クロス	1.0m²
		4	EU-ONE	1.8kg/m²
		5	EU-ONE	1.7kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²



※ 立上りはCEU-立上り工法となります。（P20参照）

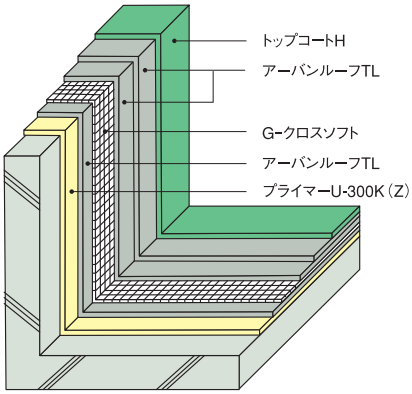
※ プライマーは、U-300K（速乾タイプ）もしくはU-300KZ（造膜タイプ）のいずれかをご使用ください。

アーバンルーフ立上り工法

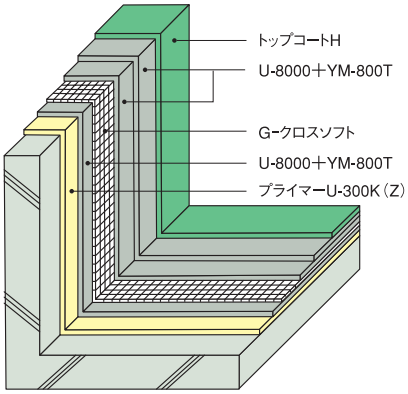
歩行用

■C-立上り工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-立上り	2.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	アーバンルーフTL	0.4kg/m²
		3	G-クロスソフト	1.0m²
		4	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		5	アーバンルーフTL	0.9kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²

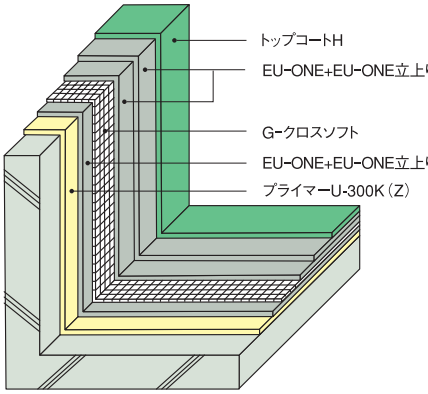


工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
C-立上り	2.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	U-8000＋YM-800T	0.3kg/m²
		3	G-クロスソフト	1.0m²
		4	U-8000＋YM-800T	0.9kg/m²
		5	U-8000＋YM-800T	0.8kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²



■CEU-立上り工法

工法	平均膜厚	工程	材料	使用量
CEU-立上り	2.0mm	1	プライマーU-300K（U-300KZ）	0.2kg/m²
		2	EU-ONE+EU-ONE立上り用添加剤	0.4kg/m²
		3	G-クロスソフト	1.0m²
		4	EU-ONE+EU-ONE立上り用添加剤	1.1kg/m²
		5	EU-ONE+EU-ONE立上り用添加剤	1.1kg/m²
		6	トップコートH	0.2kg/m²

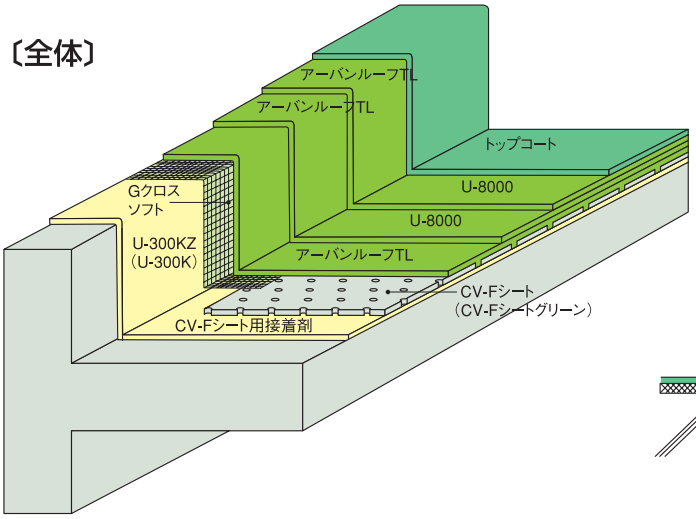


※ プライマーは、U-300K（速乾タイプ）もしくはU-300KZ（造膜タイプ）のいずれかをご使用ください。

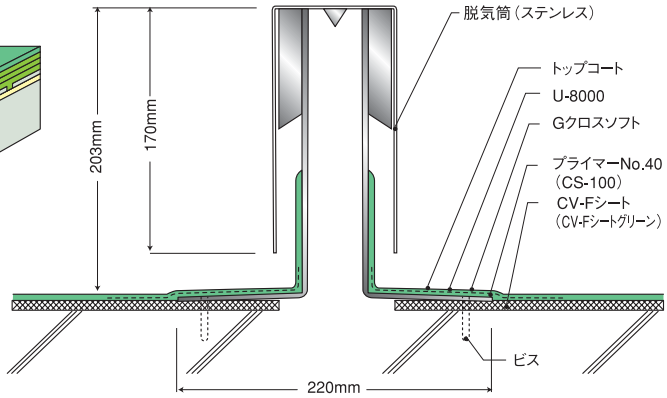
※ EU-ONE立上り添加剤の取扱い方法はP24をご参照ください。

アーバンルーフCV-F工法の納り図

〔全体〕

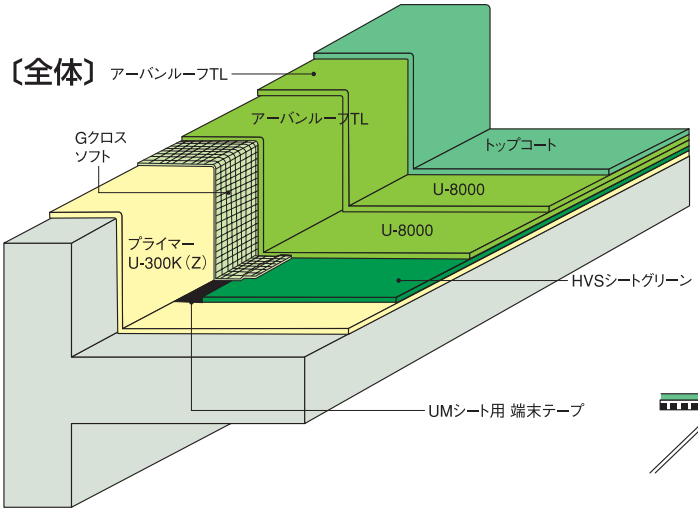


〔脱気筒回り〕

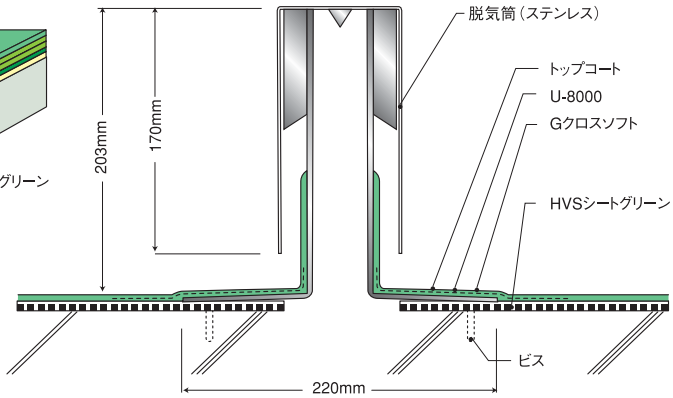


アーバンルーフHVS工法の納り図

〔全体〕

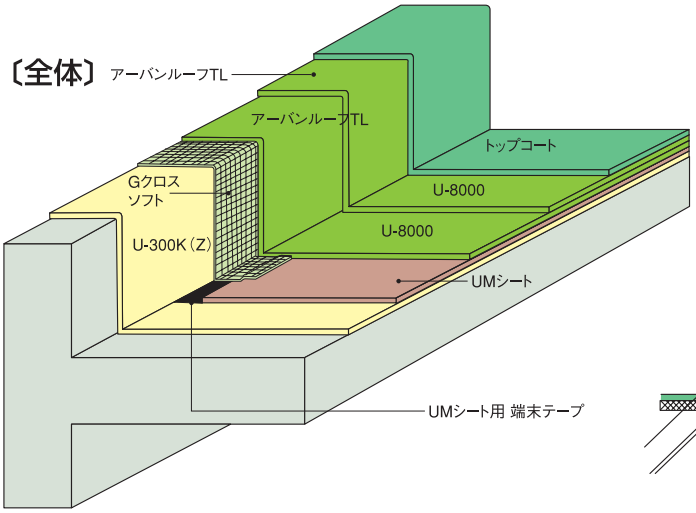


〔脱気筒回り〕

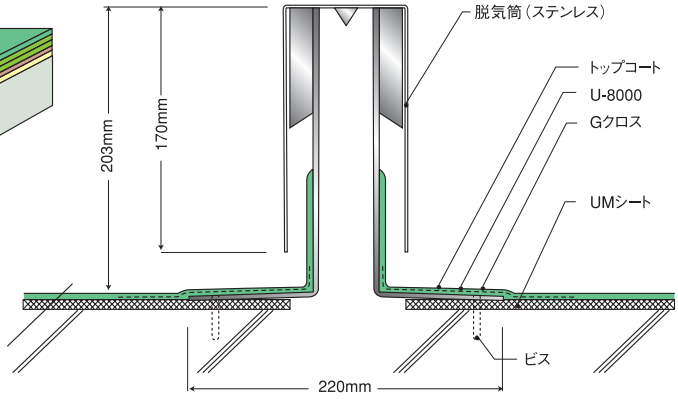


アーバンルーフUM工法の納り図

〔全体〕

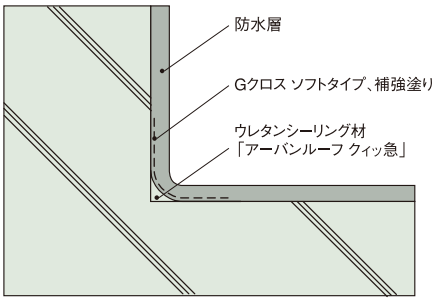


〔脱気筒回り〕

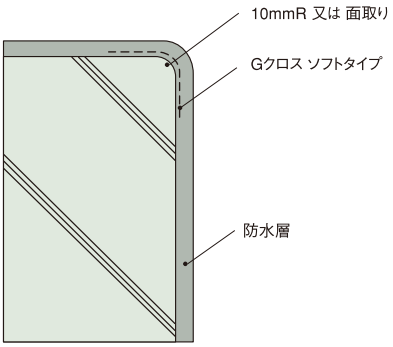


各部の納り図

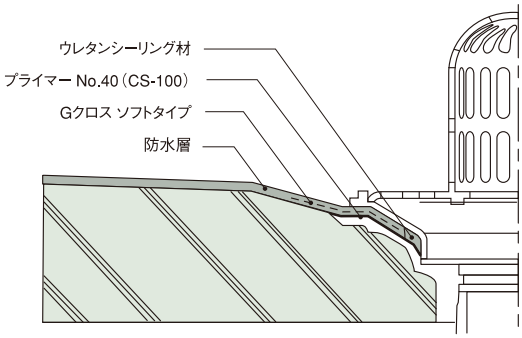
入隅



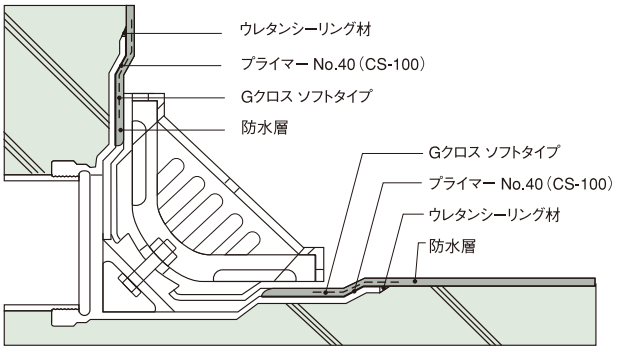
出隅



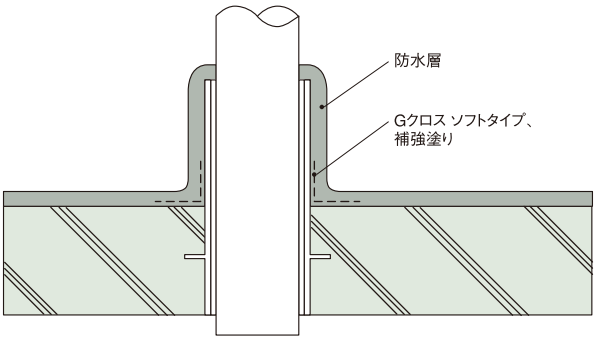
ドレイン（竪引き）



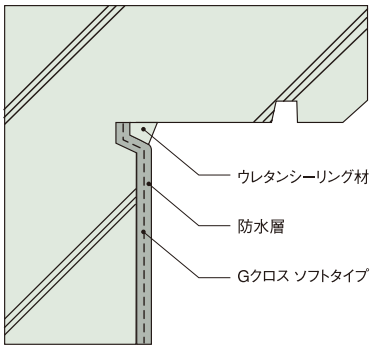
ドレイン（横引き）



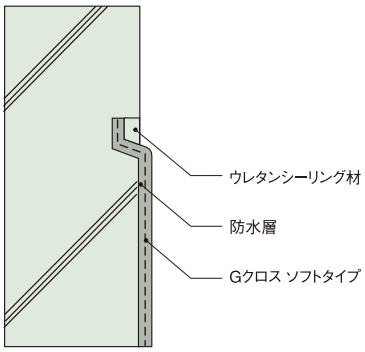
床貫通パイプ



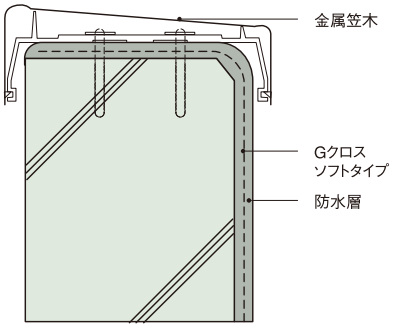
アゴ下



かきこみ



笠木



アーバンルーフ防水材料について

アーバンルーフ工法に使用される防水材は全てJIS A 6021（建築用塗膜防水材）高伸長形に合格した高品質なウレタン塗膜防水材です。耐久性、耐候性に優れ、建物の長期的な防水に充分機能し、また屋上の有効利用にも役立ちます。

■ 2成分形反応硬化型（環境対応型）　U-8000

環境対応型　U-8000は、耐久性、耐用年数、混練性に優れた1:1配合の高品質な歩行用2成分形反応硬化型カラーウレタン防水材です。また、当社が独自に開発した技術を応用し、低比重化（硬化物比重1.0）を実現しました。

［カラーバリエーション］（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

グレー　グリーン

・荷姿は2種類用意しております。
（角缶、ペール缶）

荷姿：主剤 7kg　硬化剤7kg

■ 2成分形反応硬化型（環境対応型速硬化タイプ）　U-8000HC

環境対応型U-8000HCは、速硬化タイプの、耐久性、耐用年数、混練性に優れた1:1配合の高品質な歩行用2成分形反応硬化型カラーウレタン防水材です。低温時（0℃～5℃）の硬化性・作業性に優れています。（冬仕様のみとなります。）また、当社が独自に開発した技術を応用し、低比重化（硬化物比重1.0）を実現しました。

［カラーバリエーション］（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

グレー

・荷姿は1種類のみとなります。
（角缶）

荷姿：主剤 7kg　硬化剤7kg

■ 2成分形反応硬化型（立上り、目止め用）アーバンルーフTL

アーバンルーフTLは、立上り部塗布用の高粘度タイプのウレタン塗膜防水材です。作業性に優れ、CV-Fシート（CV-Fシートグリーン）の目止め材としても使用できます。プライマー、トップコートとの組み合わせにより環境対応型防水工法に適用が可能です。

［カラーバリエーション］（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

グレー

・荷姿は1種類のみとなります。
（角缶）

荷姿：主剤 7kg　硬化剤7kg

アーバンルーフ防水材料について

■ 2成分形ウレタン防水材専用液状増粘剤　YM-800T

YM-800Tは、U-8000、U-8000HCに添加することにより、立上り面、目止めの施工が可能となります。
（特許申請中）

添加量と効果発現時間（目安）

用途	気温（℃）	添加量（目安）	効果発現時間（分）	可使時間（分）
高粘度	5～35	4%（600g／1セット）	5	60
中粘度		2%（300g／1セット）	5	60

※ 14kgセットの場合
※ 最大添加量は5%です。

■ 1成分形湿気硬化型（環境対応型）EU-ONE

EU-ONEは、1成分形湿気硬化型ウレタン塗膜防水材です。プライマー、トップコートとの組み合わせにより環境対応型防水工法に適用が可能です。また、専用の添加剤を投入することにより、立上り面の施工が可能です。

［カラーバリエーション］

グレー

（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

・荷姿は1種類のみとなります。
（角缶）

荷姿：10kg

■ EU-ONE 立上り用　添加剤

「EU-ONE 立上り用添加剤」は、環境対応型1成分形ウレタン防水材（平場用）「アーバンルーフEU-ONE」に環境対応型添加剤を投入することにより、立上り面の施工が可能となる画期的な商品です。（特許申請中）

「アーバンルーフEU-ONE」に「EU-ONE立上り用添加剤」を投入し（最大投入量500g/缶）、攪拌する。一定時間経過し、粘度を確認後、立上り面を施工する。

荷姿：500g

投入量と効果発現時間（目安）

気温／投入量	5℃（促進剤と併用）	20℃	35℃
300g～400g（中粘度）	30～40分	15～20分	10分
400g～500g（高粘度）	20～30分	10～15分	5分

■ 性状・性能

	EU-ONE	U-8000	U-8000HC	アーバンルーフTL	U-5000
配合比（質量比）	1成分	1:1	1:1	1:1	1:1
比重	1.3	1.0	1.0	1.1	1.2
粘度（Pa.S/20℃）	8～11	9～10	7～10	40～60	7.5～8.5
次工程施工可能時間（20℃・55%）	18h	16h	8h	18h	10h
硬さ（JIS A）	40～50	50～70	40～60	50～70	75～85
破断時の伸び（%）	540	650	830	1000	350
引張強さ（N/mm²）	3.7	2.7	2.9	2.6	8.8
引裂強さ（N/mm）	19.3	17	20.4	17	40.1
可使時間（20℃）	240分	40～60分	20～30分	40～60分	40分

プライマー

■ プライマー U-300KZ

1成分形汎用ウレタン樹脂系プライマーです。
コンクリート、モルタル下地に優れた接着性を発揮します。

荷姿：16kg

■ プライマー U-300K

1成分形速乾型ウレタン樹脂系プライマーです。コンクリート、モルタル下地に優れた接着性を発揮します。防水材の塗継ぎ用（層間）プライマーとして使用できます（※） 又、脱トルエン・キシレン化に成功し、厚生労働省「室内空気汚染物質ガイドライン」における対象化学物質（13物質）を全て使用しておりません。

荷姿：9kg　　※事前に必ず既存のウレタン防水層との接着性試験を実施してください。

■ プライマー E-100

環境対応型工法専用の2成分形水性エポキシ系プライマーです。

荷姿：A剤 4kg　B剤 4kg×2セット／缶

■ プライマー No.40

金属面との取合い部分に使用可能な1成分形ウレタン樹脂系プライマーです。

荷姿：500ml×10缶／ケース

■ プライマー CS-100

塩ビシートおよび金属面との取合い部分に使用可能な1成分形ウレタン樹脂系プライマーです。

荷姿：500ml×10缶／ケース

接着剤

■ CV-Fシート用接着剤

CV-Fシート（CV-Fシートグリーン）に使用する1成分形クロロプレン系接着剤です。1成分形のため混合、攪拌が不要です。

荷姿：15kg

■ アーバンルーフ接着剤ECO

環境対応型CV-F工法専用の2成分形ウレタンエポキシ系接着剤です。
U-8000のA剤と専用B剤とを混合、攪拌します。

荷姿：A剤 7kg　B剤 7kg

トップコート

ウレタン塗膜防水材を紫外線による劣化から守るため、必ずトップコートを塗布します。アーバンルーフ工法では、用途に応じて各種トップコートを用意しております。

■ トップコートH

耐候性に優れ、耐摩耗性を併せもつ2成分形の汎用アクリルウレタン系トップコートです。（※艶無し、艶有りの2タイプを用意しております。但し、艶有りは受注生産品となります。）

［カラーバリエーション］

グレー　グリーン　ライトグレー

（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

荷姿 ：A剤 7kg　B剤 7kg

■ トップコートF フッソ

耐候性に優れた2成分形のフッソ系トップコートです。メンテナンスの周期が従来のアクリルウレタン系トップコートに比べて飛躍的に延び（当社比）、ライフサイクルコスト（塗替え費用）が削減できます。（艶有りのみの設定です。）

［カラーバリエーション］

グレー　ライトグレー

（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

荷姿 ：A剤 2kg　B剤 6kg

■ アーバントップSR

耐候性に優れた2成分形の環境対応型アクリルシリコーン系トップコートです。メンテナンスの周期が従来のアクリルウレタン系トップコートに比べて飛躍的に延び（当社比）、ライフサイクルコスト（塗替え費用）が削減できます。（艶有りのみの設定です。）

［カラーバリエーション］

グレー　ライトグレー　グリーン（受注生産色）

（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

荷姿 ：A剤 6kg　B剤 9kg

■ トップコートS

耐候性に優れた2成分形の環境対応型アクリルウレタン系高反射（遮熱）塗料です。

荷姿 ：主剤　0.5kg
　　硬化剤　5kg　×2セット

［カラーバリエーション］

ライトグレー　ライトグリーン（受注生産色）

（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

トップコートSは0.1kg/m²＋0.1kg/m²の2回塗り仕様となります。
1層目と2層目のトップコートSのオープンタイムは下記表を目安としてください。

気温（℃）	5℃	20℃	35℃
オープンタイム（時間）	5～24	3～24	1～24

■ プライマー、トップコートの標準塗布量、適用表

	プライマー			トップコート						
	U-300KZ	U-300K	E-100	トップコートH	トップコートFフッソ	アーバントップSR	トップコートS	トップコートAC	トップコートA	トップコートE
標準塗布量（kg/m²）	0.2	0.2※1	0.2※1	0.2	0.2	0.2	0.2※2	0.2	1.5※2	0.2※2
U-8000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
U-8000HC	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
アーバンルーフTL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
EU-ONE	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○

○ 適用可能　　—適用不可

※1:層間プライマーとしての使用時は0.1kg/m²です。
※2:2回塗り仕様です。2回に分けて標準塗布量を塗布してください。

■ トップコートAC

耐摩耗性に優れ、SP工法等使用条件が過酷な部位に使用するアクリルウレタン系トップコートです。（艶無しのみの設定です。）

［カラーバリエーション］

グレー　グリーン

（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

・受注生産品
（納期約2週間）

荷姿：主剤 3kg　硬化剤12kg

■ トップコートA

耐候性に優れた、骨材入りのアクリルエマルジョン系トップコートです。軽歩行仕様となります。

［カラーバリエーション］

グレー（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

・受注生産品
（納期約2週間）

荷姿 ：18kg

■ トップコートAシーラー

トップコートA専用の下塗り材です。トップコートAを施工する際、必ず事前に塗布します。

荷姿 ：16kg

■ トップコートE

耐候性に優れた水性アクリルウレタン系トップコートです。
環境対応型工法に使用します。

［カラーバリエーション］

ライトグレー
（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

荷姿 ：主剤　0.5kg
硬化剤7.5kg　×2セット

トップコートEは0.1kg/m²＋0.1kg/m²の2回塗り仕様となります。
1層目と2層目のトップコートEのオープンタイムは下記表を目安としてください。

気温（℃）	5℃	20℃	35℃
オープンタイム（時間）	5～24	3～24	1～24

■ トップコートUシルバー

耐候性に優れたウレタン系アルミペイントです。非歩行仕様となります。

［カラーバリエーション］

シルバー
（※印刷のため、現品と色が異なる場合があります。）

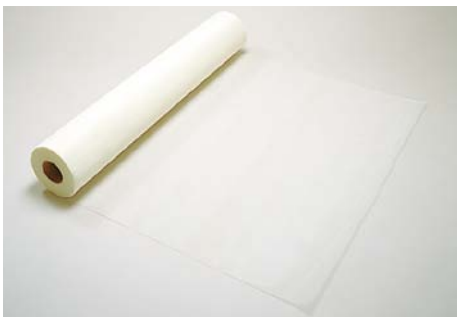
荷姿 ：18kg

副資材

■ G-クロス

平場用ガラス繊維クロスです。

荷姿：1.04m×100m巻



■ G-クロス ソフトタイプ

立上り用ガラス繊維クロスです。

荷姿：1.00m×100m巻

■ Gカット クロス #100

不織布とガラス繊維を組合せた
立上り用クロスです。

荷姿：100mm×100m×10巻

■ アーバンルーフCV-Fシート

通気層に不織布を用いた穴有り
通気緩衝シートです。

荷姿：1.02m×50m巻

※販売終了を予定しています。

■ アーバンルーフCV-Fシート グリーン

通気層に不織布を用いた穴有り
通気緩衝シートです。

荷姿：1.00m×50m巻

■ アーバンルーフジョイントテープ

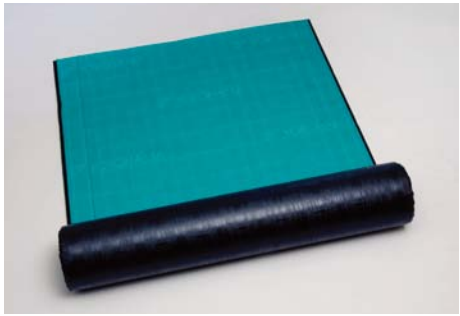
通気緩衝シート
「アーバンルーフCV-Fシート」
および「アーバンルーフCV-Fシート
グリーン」に使用するジョイントテー
プです。

荷姿：50mm×50m巻

■ アーバンルーフHVSシート グリーン

通気層に不織布を用い、表面に耐水性がある特殊フィルム層を採用したため仮防水機能がある通気緩衝シートです。シート裏面（コンクリート被着面）に自着層（粘着層）があるため、プライマー塗布後、シート貼り付けが可能です。

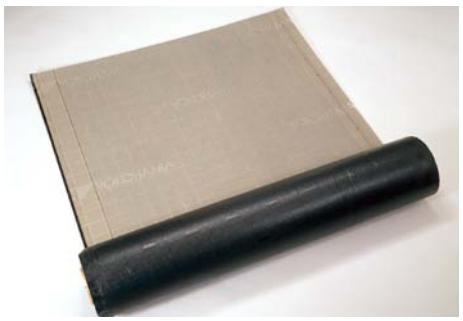
荷姿：1.04m×25m巻



■ アーバンルーフUMシート

表層に防水性のある特殊フィルムを採用したため、仮防水機能がある通気緩衝シートです。シート裏面(コンクリート被着面)に自着層(粘着層)があるため、プライマー塗布後、シート貼り付けが可能です。

荷姿：1.04m×15m巻



■ UMシート用ジョイントテープ

通気緩衝シート「アーバンルーフUMシート」および「アーバンルーフHVSシートグリーン」に使用するジョイントテープです。

荷姿：30mm×50m巻

■ UMシート用端末テープ

通気緩衝シート「アーバンルーフUMシート」および「アーバンルーフHVSシートグリーン」に使用する端末テープです。

荷姿：75mm×25m巻

副資材

■ UMシート用補強クロス

通気緩衝シート「アーバンルーフUMシート」用補強クロスです。シートの短手方向(幅方向1.0m)のジョイントテープの上から貼り付けます。

荷姿：140mm×50m巻

■ アーバンルーフステンレス脱気筒

通気緩衝工法用の脱気筒です。(50m²あたり1個を目安に設置してください。)

荷姿：1ヶ／箱
(台座直径×220mm 高さ200mm)
※ABS樹脂・ステンレスキャップ付

■ アーバンルーフベンチレーションSP

SP工法用の脱気筒です。(50m²あたり1個を目安に設置してください。)

荷姿：1ヶ／箱
(台座200mm×120mm 高さ120mm)
※アルミ鋳造品

■ フェライト

粗面仕上げ用骨材です。(添加量は3%(重量比)としてください。)

荷姿：500g×12袋／箱

■ エストップ#20

粗面仕上げ用ゴムチップです。
(添加量は3%(重量比)
としてください。)

荷姿：12kg／袋

■ SPチップ（RG-1016T）

SP-1工法用の
弾性舗装用ゴムチップです。

荷姿：15kg／袋

■ アーバンルーフクイッ急NB

1成分形速乾性下地処理用
シーリング材です。

荷姿：320ml×10本／箱

■ アーバンルーフ促進剤

「U-8000」、「U-8000HC」、
「アーバンルーフT」専用
硬化促進剤です。
(1セットあたりの最大投入量は
400gです。)

荷姿：3kg

■ EU-ONE用促進剤

「EU-ONE」専用硬化促進剤です。
(1缶あたりの最大投入量は
1kgです。)

荷姿：1kg

アーバンルーフ材料技術資料

■1 防水材

JIS A 6021（屋根用塗膜防水材）による試験結果

試験項目			EU-ONE	U-8000	U-8000HC	アーバンルーフTL	JIS A6021 ウレタンゴム系高伸長形規定
引張性能	引張強さ（N/mm²）		3.7	2.7	3.3	2.6	2.3以上
	破断時の伸び率（%）		540	650	830	1000	450以上
	抗張積（N/mm）		406	351	548	512	280以上
引裂性能		引裂強さ（N/mm）	19.3	17	20	17	14以上
温度依存性	引張強さ比（%）	試験時温度 -20℃	210	288	245	266	100以上300以下
		試験時温度 60℃	83	74	70	97	60以上
	破断時のつかみ間の伸び率（%）	試験時温度 -20℃	397	380	480	480	250以上
		試験時温度 23℃	360	330	460	520	300以上
		試験時温度 60℃	245	320	440	360	200以上
加熱伸縮性状		伸縮率（%）	-0.1	-0.5	-0.9	0.1	-4以上1以下
劣化処理後の引張性能	引張強さ比（%）	加熱処理	103	88	96	90	80以上150以下
		促進暴露処理	103	95	90	91	60以上150以下
		アルカリ処理	115	73	80	108	60以上150以下
		酸処理	109	93	96	90	80以上150以下
	破断時の伸び率（%）	加熱処理	520	550	820	950	400以上
		促進暴露処理	500	580	760	885	400以上
		アルカリ処理	510	510	720	980	400以上
		酸処理	490	610	800	900	400以上
伸び時の劣化性状		加熱処理	異状なし	異状なし	異状なし	異状なし	いずれの試験片にもひび割れおよび著しい変形を認めないこと
		促進暴露処理	異状なし	異状なし	異状なし	異状なし	
		オゾン処理	異状なし	異状なし	異状なし	異状なし	
固形分（%）		基剤	99.8	99	99	99	表示値 ±3.0
		硬化剤		93	90	97	表示値 ±3.0
硬化物比重			1.3	1.0	1.0	1.1	表示値 ±0.1

■2 防水材の季節性

防水材は使用される季節に応じたタイプ用意しています。ご使用になる季節・温度に基づき、下表より適したタイプを選定してください。

●U-8000　U-8000HC

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A剤	共通											
B剤	Wタイプ 15℃						MSタイプ				15℃ Wタイプ	

※ U-8000HCはWタイプのみとなります。

●EU-ONE

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	MSタイプ											

※ EU-ONEは通年タイプとなります。冬期は硬化促進剤を添加してください。

■3 トップコートの性能

項目＼種類		H	F	SR	AC	S	E	備考
接着性	密着性	100/100	100/100	100/100	100/100	100/100	100/100	ゴバン目試験
耐摩耗性（mg）		55	30	40	16	102	—	テーパー式摩耗論CS-17 1000g×100回転
耐候性	1000時間	異状なし	←	←	←	←	←	サンシャイン　ウェザーメーター

■4 プライマー、接着剤の性状

項目＼品名		U-300KZ	U-300K	プライマー E-100	No.40	CS-100	CV-Fシート用接着剤	アーバンルーフ接着剤ECO
外観		褐色液体	褐色透明液体	白色液体	淡黄色透明	淡黄色透明	黄褐色液体	青色液体
荷姿		16kg	9kg	16kg（A剤 4kg B剤 4kg ×2セット）	500cc	500cc	15kg	14kg（A剤 7kg B剤 7kg）
仕様		1成分形	1成分形	2成分形	1成分形	1成分形	1成分形	2成分形
主成分		ウレタン樹脂	ウレタン樹脂	エポキシ樹脂	ウレタン樹脂	ウレタン樹脂	クロロプレンゴム	ウレタンエポキシ樹脂
オープンタイム	5℃	180分～8時間	60分～8時間	150分～8時間	60分～8時間	60分～8時間	5～10分	10～60分
	20℃	120分～8時間	30分～8時間	90分～8時間	30分～8時間	30分～8時間	5～10分	5～50分
	35℃	90分～8時間	15分～8時間	60分～8時間	15分～8時間	15分～8時間	3～8分	5～20分
用途		造膜プライマー	速乾プライマー（ウレタン防水用層間プライマー（※1））	水系プライマー（環境対応型）	取合い部分用プライマー（金属面）	取合い部分用プライマー（塩ビシート・金属面）	CV-Fシート用接着剤	CV-Fシート用接着剤（環境対応型）

※1 事前に必ず旧ウレタン防水層との接着性試験が必要です。

■5 補強クロスの性状

（JIS L 1096一般織物試験方法に準ずる）

項目＼種類	Gカットクロス#100	G-クロス	G-クロスソフト	UMシート用補強クロス
材質	ガラス・ビニロン	ガラス	ガラス	高強度ビニロン繊維
織物幅	100mm	1040mm	1000mm	140mm
織物長さ	100m	100m	100m	50m
構成密度	タテ　5.6±0.5 ナナメ5.6±0.5（本/25mm）	タテ8.3 ±0.8 ヨコ8.3 ±0.8（本/25mm）	10×10本/2.54cm	タテ11 ±1 ヨコ10 ±1
引張強さ	タテ147以上（N/25mm）	タテ294（kgf/3cm）以上 ヨコ294（kgf/3cm）以上	タテ　18（kgf/2.5cm） ヨコ　22（kgf/2.5cm）	タテ　232以上（N/5cm） ヨコ　233以上（N/5cm）
伸び率	タテ ヨコ　} 3～4%	タテ ヨコ　} 3～4%	タテ 8% ヨコ 8%	タテ 3%以上 ヨコ 4%以上

■6 CV-Fシート、CV-Fシートグリーンの性状と性能

項目		アーバンルーフCV-Fシート	アーバンルーフCV-Fシートグリーン
構造		3層構造	2層構造
材質	通気・緩衝層	ポリエステル長繊維	樹脂コート層
	遮水層	ポリエチレンフイルム	
	防水材固着・補強層	ポリエステル長繊維	ポリエステル長繊維
厚み（全体）		1.4 ±0.4mm	1.5 ±0.3mm
引張強さ（N/5cm）	タテ	423以上	400以上
	ヨコ	158以上	240以上
伸び率（%）	タテ	15以上	45以上
	ヨコ	30以上	50以上
引裂強さ（N）	タテ	70以上	65以上
	ヨコ	70以上	55以上

■7 HVSシートグリーンの性状と性能

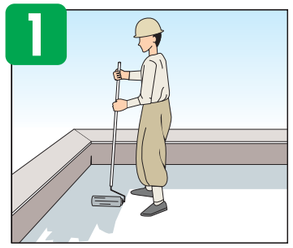
項目		アーバンルーフHVSシートグリーン
1巻の長さ（m）		25m
幅（mm）		1040 ± 5
厚さ（mm）	シート部	0.3～0.7
	シート+粘着層	1.1～1.9
引張強さ（N/cm）	タテ	100以上
	ヨコ	90以上
伸び率（%）	タテ	10以上
	ヨコ	10以上
引裂強さ（N）	タテ	60以上
	ヨコ	60以上

■8 UMシートの性状と性能

項目		アーバンルーフUMシート
1巻の長さ（m）		15 ±0.2
幅（mm）〈改質アスファルトシール部〉		1040 ± 5
厚さ（mm）	シート部	0.8～1.2
	シート+粘着層	1.2～1.6
引張強さ（N/cm）	タテ	135以上
	ヨコ	130以上
伸び率（%）	タテ	3以上
	ヨコ	3以上
引裂強さ（N）	タテ	40以上
	ヨコ	40以上

アーバンルーフ施工手順（例:CV-F工法）

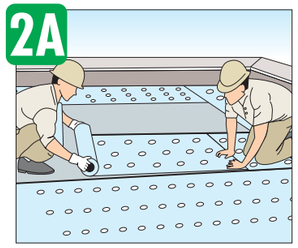
※施工手順の詳細は、別途施工要領書をご参照ください。



1 接着剤塗布

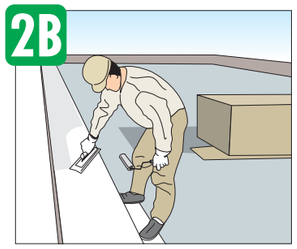
事前に下地状態の確認を行い、下地調整処理を行います。下地処理完了後、「CV-Fシート用接着剤」をローラー刷毛等を用いて規定量を塗布します。下地への吸い込みの激しい部分には、事前にプライマーU-300K（Z）を塗布・乾燥させてから接着剤を塗布してください。

※接着剤、プライマーはオープンタイムを守って使用してください。



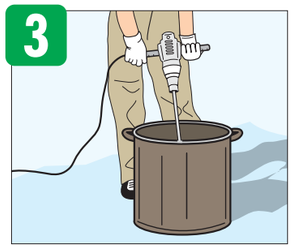
2A CV-Fシート張り

CV-Fシート用接着剤塗布後、5～10分の間に、CV-Fシートをたるみ、ねじれがないように張り、すぐに充分な転圧を行い、下地に充分密着させてください。シート同士のジョイントはアーバンルーフジョイントテープを張ります。ステンレス脱気筒は、取り付け位置のシートを10cm×10cm切り取り、その上に設置し、ビスで固定します。



2B 補強クロス張り（立上り）

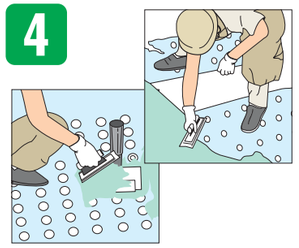
下地処理完了後、プライマー「U-300K（Z）」をローラー刷毛などを用いて、規定量塗布して下さい。吸い込みの激しい場合、あるいはプライマー塗布後、降雨などにより間隔が空いた場合には再塗布して下さい。乾燥後にクロスを、浮き上がったり、シワがよらないように注意しながら立上り用材料を用いて張りつけます。



3 防水材の混合・撹拌

材料の撹拌場所は、周囲が汚れないようにブルーシートなどで養生してください。次に硬化剤を事前に撹拌した後、所定の配合比に基づき計量し、主剤、硬化剤の順に丸い容器に投入し、低速撹拌機にて3～5分間、上下、左右隅々まで混合・撹拌します。

※気温によっては可使時間が変化しますので、仕事量に合わせて混合量を調整して下さい。

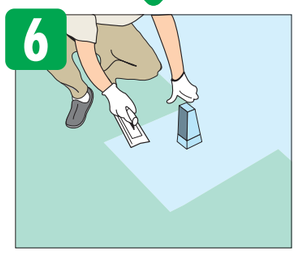


4 アーバンルーフTLによる目止め

アーバンルーフTLを規定の配合比で混合、撹拌し、金ゴテで接着穴を埋め込むように規定量を均一に塗布してください。シート端末も同時に処理します。

5 防水材の塗布（1回目）

材料撹拌後、速やかに床面に流し、金ゴテ、ゴムベラ等で規定量を均一に塗布して下さい。クロスの目が完全に隠れるように塗布します。

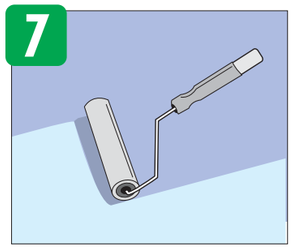


6 防水材の塗布（2回目）

1層目硬化後、塗布面をチェックし、ピンホール及びクラックがあった場合には、「クイッ急NB」を充填し、平滑に仕上げます。「クイッ急NB」がタックフリーになった状態で2回目の規定量を均一に塗布します。

※1層目塗布後、3日以上経過した場合は、塗膜表面を清掃し、プライマーU-300K（0.1kg/m²）を塗布してください。

※降雨があった場合は、水分を充分に拭きとり、プライマーU-300K（0.1kg/m²）を塗布してください。



7 トップコート塗布

2層目硬化後、塗布面をチェックし、不具合があれば「クイッ急NB」で処理します。「クイッ急NB」タックフリー後、トップコートを規定の配合で計量・撹拌し、ローラー刷毛、スプレー等で均一に塗布します。

※粗面仕上げの場合、トップコート撹拌後、エストップ#20もしくはフェライトを重量比3%混入し、更によく撹拌した後、ローラー刷毛等で施工します。

※ローラー刷毛で施工する場合は、必ずクロス掛けを実施します。

※2層目塗布後、3日以上経過した場合は、塗膜表面を清掃し、プライマーU-300K（0.1kg/m²）を塗布してください。

※降雨があった場合は、水分を充分に拭きとり、プライマーU-300K（0.1kg/m²）を塗布してください。

アーバンルーフ施工手順(例:UM工法)

1 プライマー塗布

●下地処理完了後、「プライマーU-300KZ」をローラー刷毛等を用いて0.2kg／m^2を均一に塗布してください。

2 UMシート貼り

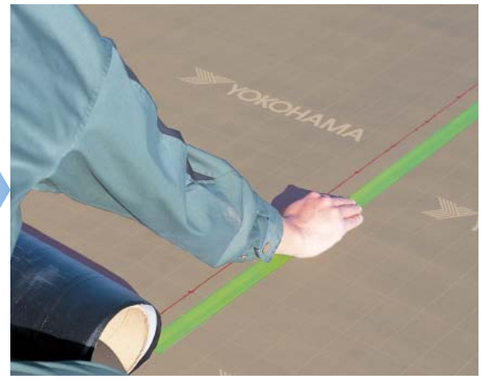
●プライマーU-300KZのオープンタイム（20℃120分）経過後にUMシートをたるみねじれがないように貼り付ける。すぐに充分な転圧(※)を行い、下地に充分密着させてください。

●シート貼りは、立上り部、ドレイン廻り等の端部から100mmのところまで貼ります。

※転圧不足はシート剥離の原因となりますので、必ず転圧ローラーを使用して念入りに行ってください。

2 UMシート貼り

●シートの長手方向のジョイントは、シート表面の青い線を下にし、赤い線を上にしてオーバーラップさせて貼り付けてください。オーバーラップさせる際、青い線を基準にして貼り付けてください。



●ラップ部分にUMジョイントテープ（緑色のテープ）を貼ります。

2 UMシート貼り

●シートの短手方向（幅方向:1.04m）のジョイントは突きつけとし、UMジョイントテープを貼り、その上からUM補強クロスを貼ります。

●シート端末部は、UM端末テープを貼り、その上から補強クロスを貼ります。

●ステンレス脱気筒は、取り付け位置のシートを10cm×10cm切り取り、その上に設置しビスで固定します。

3 防水材の塗布

●材料攪拌後、すみやかに床面に流し、金ゴテ、ゴムベラ等で規定量を均一に塗布してください。

4 トップコートの塗布

●トップコートをローラー刷毛、スプレー等で均一に規定量を塗布します。

アーバンルーフ施工上の注意点

アーバンルーフは厳しい品質管理のもとで生産された高機能、高性能な商品です。しかしこの品質を充分に発揮するためには、正しい施工方法が必要です。施工上のトラブル、施工後のトラブルを起こさないためにも以下の注意事項をお守りください。

■1 下地の確認と調整

1-1　モルタル・コンクリートの場合

●下地の勾配

＊平場の下地の勾配は1/100～1/20の範囲に納まるようにしてください。勾配が1/20以上の場合、不均一な防水層になり、1/100以下の場合、水溜りの発生などにより防水層の劣化が早くなりますのでご注意ください。

●下地の乾燥

＊乾燥が不十分な場合、下地と防水層の接着不良、ピンホール、ふくれ等の原因となります。

下地打設後の養生期間

下地	養生期間の目安
コンクリート	打設後3週間以上
モルタル	打設後2週間以上

＊冬季においては倍の養生が必要です。

＊降雨後は2日以上乾燥期間をとることを推奨いたします。
＊部分的に湿っている場合はバーナー等でその部分を強制乾燥させてください。（火気を使用しますので溶剤系の材料との同時施工は絶対にさけてください）

〈水分チェック方法〉
①ケット水分計で含水率10%以下であること。
②透明なシート(約1m²程度)を下地面に密着させ、シートの回りにテープを貼り付ける。日照時に数時間放置して、シート内部に水滴が付く、付かないで判断する。
※含水率が低い場合でも、急激な温度上昇の場合には、湿気の突き上げがありますので充分に注意してください。
※ドレイン廻り、排水溝は水が溜まりやすいので特に注意が必要です。

●出入隅

＊膜厚確保のため、出隅は面取り（5mm程度）、もしくはR=10mm以上で丸く仕上げてください。
＊入隅は必要に応じて「アーバンルーフクイッ急NB」にて三角シール処理してください。
＊出隅、入隅ともに「G−クロスソフトタイプ」を使用して補強張りをしてください。

●浮き

＊浮きが小さい場合には、浮いている部分にドリルで穴をあけ、エポキシ系注入材を注入してください。注入材で浮きが抑えられない場合は、はつってください。浮きがあるまま施工すると下地に伴った防水層の浮きが発生します。

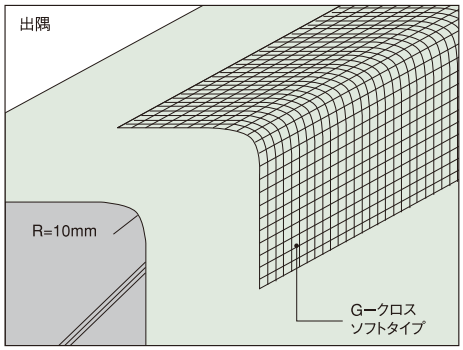
●クラック

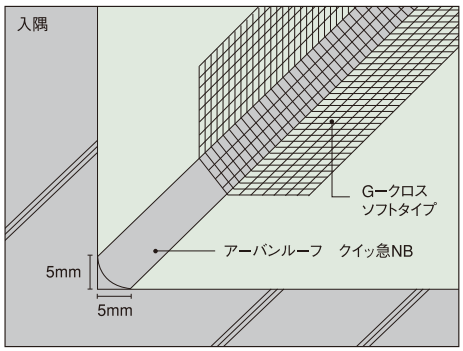
＊1mm未満のクラックは「アーバンルーフ　クイッ急NB」をすり込んでください。1mm以上2mm未満のクラックはUカットして「アーバンルーフ　クイッ急NB」を充填してください。2mm以上の場合にはUカットして「アーバンルーフ　クイッ急NB」を充填し、更に「アーバンルーフ　G-クロス」を使用して補強張りしてください。クラックを未処理のまま施工すると、防水材が破断する恐れがあります。

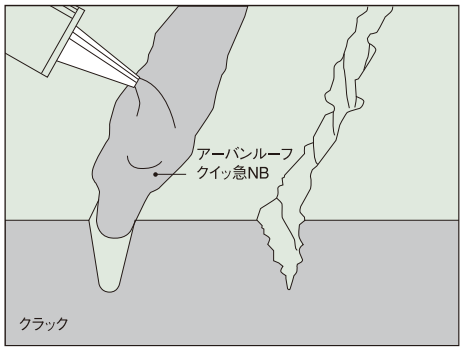
●目地

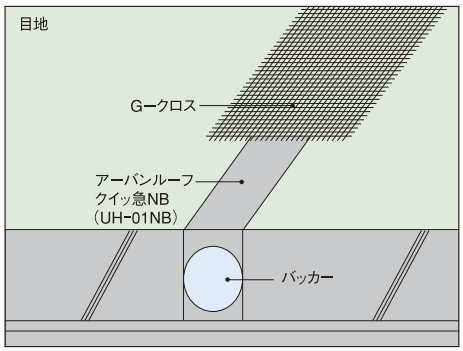
＊目地には必ずバッカーを入れ、「アーバンルーフ　クイッ急NB」もしくは「UH-01NB」を充填してください。

＊シーリング材硬化後、「G-クロス」を使用して補強張りをしてください。（通気緩衝工法の場合は不要です。）









●汚れ

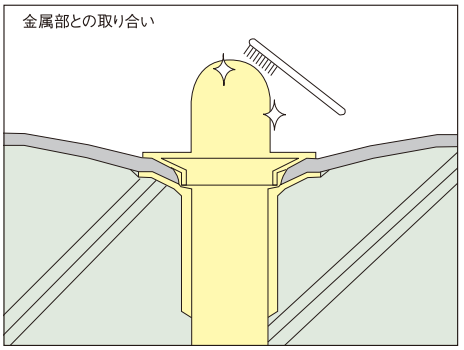
＊表面に付着したモルタルのこぼれなどはケレン棒、皮スキ、サンダーなどで除去してください。

＊表面の油分はデッキブラシ、ポリワッシャーを使用して中性洗剤で洗った後、水洗いを充分に行い、十分に乾燥させてください。

＊しみこんだ油分は切り取り、ポリマーセメントモルタルなどで平滑に仕上げてください。汚れがある場合には接着不良が発生します。

●金属部との取り合い

＊手すり金具、ルーフドレン、貫通パイプ等の金物まわりは、塗料、錆び等をはがし、モルタル等との取り合い部分をUカットしてハツり、「プライマーNo.40（CS-100）」を塗布・乾燥後、「アーバンルーフ　クイッ急NB」を充填してください。

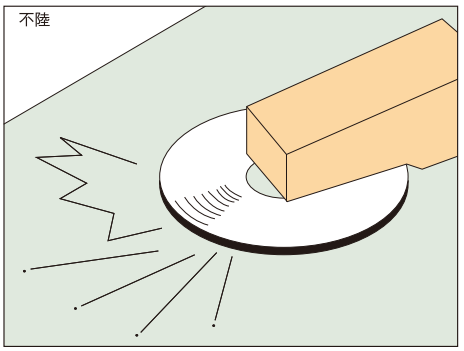


●不陸

＊凸部や突起物はサンダー等で削り、平滑にしてください。

＊小さな凹み、欠け等はプライマーを塗布・乾燥後、「アーバンルーフ　クイッ急NB」を充填してください。

＊不陸、凹み等、下地の凹凸が激しい場合は、ポリマーセメント系下地処理材にて平滑に調整してください。（塗布後の乾燥期間は充分に取ってください。）これを充分に行わない場合、意匠上の問題（非平滑、ピンホール、フクレ等）となることがあります。



●脆弱層

＊レイタンス、劣化等で表面がもろい部分は、ケレン棒、サンダー、金ブラシ等で除去し、固くて丈夫な下地を出してください。脆弱層除去後、ポリマーセメント系下地処理材にて平滑に調整してください。（塗布後の乾燥期間は充分に取ってください。）これを充分に行わない場合、意匠上の問題（非平滑、ピンホール、フクレ等）となることがあります。

1-2　既存の露出防水材がある場合

ウレタン防水材は、その多くが改修工事向けに使用されます。その場合、既存の防水層の種類によって下地処理方法が異なってきますので、下記表をご参照の上、適切な処理をしてください。

表1

既存防水材の種類	処理方法 下地処理方法	
アスファルト ルーフィング	撤去	＊ケレン棒、皮スキ等で旧防水層を削り取る ＊アスファルトプライマー層部分まで削り取る
砂付アスファルト ルーフィング	撤去	＊ケレン棒、皮スキ等で旧防水層を削り取る ＊アスファルトプライマー層部分まで削り取る
ゴムアスファルト シート	撤去	＊下地をサンダーで削り取る
加硫ゴムシート	撤去	＊下地をサンダーで削り取る
塩化ビニルシート	撤去	＊下地をサンダーで削り取る
タールウレタン防水	撤去	＊ハツリ機等で旧防水層を削り取る
カラーウレタン防水 ノンタールウレタン防水	そのまま※	＊表面の塵、汚れを取る ＊浮き、フクレ、破断部分は切り取る

※既存防水材やトップコートによっては接着不良を起こす可能性がありますので、事前に接着性試験を実施してください。接着性試験で接着不良が確認された場合は既存防水材をサンダーで削り取ってください。

＜接着性試験方法＞

①トルエン等を使用し下地の溶剤清掃を行い、汚れ等を除去する。

②清掃後1時間程度放置し(洗浄溶剤を完全に飛ばす)、プライマーを塗布する。

③24時間養生後、塗布面に1mm間隔で縦方向に6本、横方向に6本切り込みを入れ、1mm²格子を25個作成する。

④格子箇所にセロテープを付着させ、テープを引き剥がし、下地（既存防水材）に付着している格子の数をカウントする。

《判定基準》

22～25個	接着性良好（そのまま施工可能）
0～21個	接着不良

■2 材料使用上の注意

2-1　施工時の作業環境

●天候・気温

*降雨時および降雨直後の施工は、絶対に避けてください。接着不良、ピンホール、フクレ等の原因となります。また、施工後、材料硬化までの間に降雨が予想される場合も、施工を避けてください。硬化途中に降雨があった場合、硬化不良、外観不良を引き起こす恐れがあります。

*ウレタン防水材施工可能な最低温度は5℃です。5℃未満では硬化不良を起こしますので、施工を避けてください(U-8000HCの施工最低温度は0℃です)

※U-8000HCを使用する場合であっても、トップコートE、トップコートS、プライマーE-100、プライマーHS-100は5℃以上で使用してください。

*強風時には、硬化前にゴミなどの付着が考えられますので、施工を避けてください。トップコートをスプレー塗布する場合には、風により周囲を汚してしまう可能性がありますので施工は避けてください。

*気温35℃、湿度80%を超える場合、もしくは下地温度が55℃を超える場合は、施工を避けてください。接着不良やフクレを引き起こす原因となります。

2-2　材料使用上の注意

●材料の取扱い

*2成分形材料(防水材、トップコート)の場合、硬化剤成分が分離する性質があります。混合時はまず硬化剤のみを攪拌機を使用して、内容物が均一になるよう攪拌してください。内容物が均一でない場合、硬化不良や色違い、色ムラ等を引き起こす可能性があります。また、内容物が分離していた場合でも、均一に混合し使用することで物性等への影響がありません。

*2成分形材料の場合、規定の混合比を守り、かつ低速攪拌機を使用して充分な攪拌(3～5分)を行う必要があります。攪拌が不十分である場合、接着不良や硬化不良となり、トップコートの黄変、早期のチョーキングを引き起こす原因となります。

*「EU-ONE」は1成分形のため、攪拌の必要はありません。ただし缶底に成分が沈降している場合がありますので、開缶後ヘラ等で軽くかき混ぜてからご使用ください。

*「EU-ONE」は完全硬化を確認してから次工程を施工してください。深部まで硬化していない場合、シワやリフティング等の不具合の原因となります。

2-2　材料使用上の注意

*プライマーのオープンタイムは必ず確保してください。また、プライマー塗布した当日に施工を実施してください。オープンタイムが不十分な場合、またはプライマー塗布から施工まで一昼夜空いた場合、接着不良を引き起こす場合があります。

*ウレタン防水材施工からトップコート塗布まで3日以上空いた場合、または降雨にあった場合、層間プライマーU-300Kを塗布してください。接着不良を引き起こす可能性があります。

※トップコートFフッソの上に層間プライマーを使用するときは弊社販売員にご確認ください。

*トップコートの硬化途上にトップコートを塗り継いだ場合、トップコートにシワが発生する場合があります。3時間以上間隔を空けた場合、塗り継ぎは翌日以降としてください。

*トップコートE、トップコートSは、材料温度の上昇や、風の影響で皮張りを起こし易くなりますのでご注意ください。

*トップコートを薄く塗布すると、部分的にハジキが出る可能性がありますので必ず規定量を塗布してください。

*トップコートE、トップコートSの塗膜は乾燥工程において色むらのような現象が起こりますが異常ではありません。乾燥後は未硬化時と比較して濃い色調に仕上がります。

*トップコートE、トップコートS施工時（未乾燥時）に汗などの水滴が塗膜上に落ちると色浮きを起こしますのでご注意ください。

*トップコートE、トップコートSの主剤、硬化剤混合時に、塗料温度が35℃以上になると、艶が出なくなることがありますのでご注意ください。

*トップコートE、トップコートSの塗布には必ず水性塗料専用の塗装工具を使用してください。

*材料を開缶したり攪拌したりする作業場は、ブルーシート等で養生し材料等が直接下地に付着しないようにしてください。

*攪拌機、攪拌容器及び施工道具は常にキレイにしておいてください。道具が汚れていると異物の混入等の原因となります。

*ウレタン防水材料は長期間空気に触れていると変質することがありますので、材料は使用直前に開缶し、当日中に必ず使い切ってください。止むを得ず開缶状態のまま保存する場合は必ずフタをし、テープ等で余分な空気及び水分の流入が無いようにし翌日中に必ず使い切ってください。なお1成分形材料は空気に触れている部分より硬化していきますので当日中に必ず使い切ってください。

*材料は直射日光及び雨水がかからない場所にて保管してください。

*ウレタン防水材、トップコート施工時及び施工直後に降雨等で水が混入した場合、変色及び硬化不良を起こす可能性がありますのでご注意ください。

*ウレタン防水材は、必ず規定の厚みを確保するように施工してください。（ウレタン防水材のシワ・ハガレが発生する可能性があります。）

●可使時間と粘度調整

＊可使時間は、材料の液温と密接な関係にあります。夏期は温度上昇により可使時間が短くなりますので、材料の保管については風通しのよい日陰に置くなどして、液温の上昇を防いでください。また、冬場は硬化遅延を起こしますので、材料を室内等の暖かい場所に置くか、使用前に温める等の処置をしてください。

＊可使時間内に必ず防水材を施工してください。可使時間を超えて施工すると、コテムラ等の不具合が発生する場合があります。

＊「EU-ONE」は1成分形のため、空気と触れている面の表面から硬化が始まりますので、開缶後は素早く使い切るようにしてください。また、材料同士の塗継ぎも素早く行ってください。

＊原則的に希釈は行わないでください。やむをえず施工時に粘度調整をする場合、厚み管理を行った上で、ウレタン用希釈剤の添加量を、主剤と硬化剤の合計量の5%を超えない範囲としてください。5%を超えると、接着不良、硬化不良、硬化遅延、ベナードセル（表面の平滑不良）等の外観不良、ウレタン塗膜劣化の促進、トップコートの早期チョーキングを引き起こす恐れがあります。また、粘度調整はウレタン防水材のみとし、トップコートに対しては絶対に行わないでください。トップコートを希釈した場合、接着不良、トップコートの早期チョーキング、変色を引き起こす恐れがあります。

＊トップコートはウレタン防水材硬化後に塗布してください。硬化が不十分な状態でトップコートを塗布すると、リフティング(毛羽立ち)、トップコートの早期チョーキング、変色等の不具合を引き起こす恐れがあります。

＊YM-800Tの添加量は5%を上限としてください。上限を越えて使用した場合、硬化不良、トップコートの黄変等を引き起こす恐れがあります。

＊アーバンルーフ促進剤の添加量は3%を上限としてください。上限を越えて使用した場合、黄変等の変色を引き起こす恐れがあります。

＊色が薄いトップコートを使用した場合、変色しやすくなります。

本書は、適切な条件のもと、適切な保管･処理･使用を前提とした場合の製品性能、一般的な施工方法･施工手順等を記載したものにすぎません。個別･具体的な工事における、当該工事条件下での製品の選択、保管･処理･使用、施工方法･手順等は、専門家である使用者たる施工業者様の責任であります。

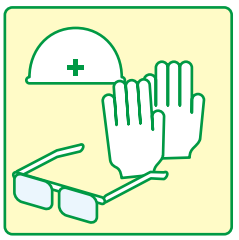
2-3　施工時の安全管理と注意事項

●施工に関しては、立入禁止の札を用意し、わかりやすい所に立ててください。異業種施工店との共同工事の場合は、工程等を元請会社とよく調整してください。

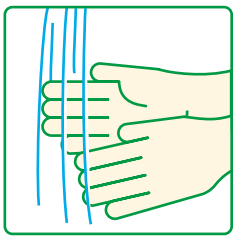
●ウレタン防水の材料は、危険物が多く火気厳禁です。施工に際しては火気厳禁の札を用意し、わかりやすい所に立ててください。また、喫煙は場所を決めて周囲の安全を確保してから行ってください。

●換気の悪い所で施工する場合は、有機溶剤マスクを着用するほか、局所排気装置等で充分に換気を行ってください。

●作業時には、保安帽、保護手袋を着用してください。また、混合攪拌時には目に入らないように、保護眼鏡を着用してください。尚、屋上等の高所作業になりますので、安全帯を着用し、安全の確保に努めてください。



●施工後はよく手を洗い、充分にうがいをしてください。

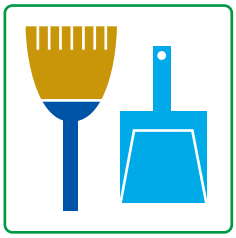


●余った材料は必ず硬化させてから使用済缶、ウエス、手袋等と一緒に専門処理業者へ委託して処理してください。

ウレタン塗膜防水の維持管理のお願い

アーバンルーフ工法は、厳重な品質管理のもとで製造された材料と、専門に教育された施工店の工事によってその性能を発揮します。この防水性能を長期にわたって維持する為に、次の維持管理をお願いします。

1.定期的に屋根や防水面の清掃を行ってください。特に排水口廻りと隅の部分の泥、枯葉等をよく除去してください。



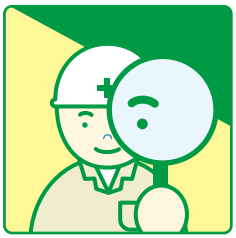
2.3ヶ年毎に次のように表面状態の点検を行ってください。異常が認められる場合は、施工業者に連絡をして補修してください。

①保護塗装が薄くなっている箇所がないか、剥離している箇所がないか。

②保護塗装にひび割れが生じていないか。

③保護モルタルに浮き、欠損箇所がないか。

④防水層が、フクレている箇所はないか。



3.防水層は鳥害を受ける場合があります。

4.保護塗料は3年に1度（トップコートFフッソ、アーバントップSRは除く）を目安に塗り替えを行ってください。（有償工事）

ウレタン塗膜防水　露出工法の使用上の注意

1.防水層の上を歩行する場合は、ハイヒール、スパイクシューズ等、防水層を損傷する恐れのある履き物を使用しないでください。

2.防水層は可燃物ですので、その上では火気を使用しないでください。たばこの吸い殻の投捨てや、花火等はしないでください。

3.防水層の上にガソリン、溶剤、不凍液等をこぼさないでください。防水層が軟化して、フクレ・剥がれが生じます。

4.防水層の上では、重い箱をひきずったり、角鉄材等 損傷を与える物を落とさないでください。防水層が剥離したり損傷を受けます。

5.防水層の上に椅子、テーブル等置く場合は、脚をゴムキャップ等で保護してください。また、角のある物を置く場合は、下にゴム板等を敷いてください。また、カッター等鋭利な物で傷つけないでください。

6.防水層の上でゴルフの練習や、一輪車、ローラースケートの練習は止めてください。クラブや車輪で防水層を傷つけることがあります。（ローラースケートはSP-3工法で対応可能です）

7.防水層の上で犬、鶏等の家畜を飼わないでください。

8.防水層の清掃の際は、中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。また、清掃の際は、水で濡れていますのでスリップ等による転倒に充分ご注意ください。

9.クーリングタワーの防藻剤、殺菌剤等の種類によっては防水層に損傷を与えますので注意してください。

ウレタン防水材料取扱い上の注意事項

●事故防止上の注意事項

1.火気厳禁:火気に近付けたり、火気のある所で使用しないでください。

2.取扱う場所には局所排気装置を設けてください。

3.取扱い中は保護眼鏡、保護手袋、さらに必要に応じ防毒マスクまたはホースマスクを着用してください。

●応急処置

1.目に入った場合は、速やかに流水で15分以上洗ってから眼科医の処置を受けてください。

2.皮膚に付着した場合は、速やかに大量の水と石鹸で完全に洗い、また、多量の蒸気を吸収した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

3.飲み込んだ場合は、安静にし、直ちに医師の診察を受けてください。尚、無理に嘔吐させないこと。

●使用上の注意

1.容器から出し入れするときは、こぼさないようにしてください。

2.液がこぼれた場合は、砂、アルコール、アンモニア水等の中和剤を散布した後、拭い取る等除去してください。

3.主剤と混合剤の混合比は、規定の比率を守ってください。

4.主剤と混合剤の混合は、電動攪拌機等を使用してよく混ぜてください。

5.主剤と混合剤の混合、硬化剤の取出し、小分け、空缶をつぶす等の作業をする場合は、内容物が地下に浸透しないように、シート等を敷いてから作業を行ってください。

6.塗布は、コテ・ゴムベラ等で均一に塗布してください。

7.主剤と硬化剤を混合後は、徐々に硬化反応が始まりますので、使用可能時間内に塗布してください。

8.取扱い後は、手洗い、うがいを充分に行ってください。

9.作業衣等に付着した場合は、その汚れを落としてください。

10.商品の取扱い及び注意事項についての詳細は、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。

●廃棄

1.使用済みの空缶、材料の付いた手袋、ウエス、使用済みの溶剤等は専門の廃棄処理業者に委託して処理してください。

2.缶は使い切ってから、専門の廃棄処理業者に出してください。

●保管

1.消防法の危険物ですので、火気に近付けないで、法に則って保管してください。

2.危険物の保管には、数量により貯蔵の届出、許可等の手続きが必要な場合があります。

3.一定の場所を定め、直射日光が当たらないように保管してください。

4.保管中は、必ず容器を密閉し、日光、雨等に当たらないように保管してください。

5.屋外に保管する場合は、周囲をトタン板等不燃物で囲い、下に板、シートを敷き、かつ全体をシートで被ってください。

●アーバンルーフの危険物該当品種（消防法に基づく分類）

品名	消防法	危険等級
EU-ONE	第4類第4石油類（非水溶性液体）	III
U-8000-A　アーバンルーフTL-A U-8000HC-A　アーバンルーフ接着剤ECO-A	第4類第4石油類（非水溶性液体）	III
プライマーU-300K	第4類第1石油類（非水溶性液体）	II
プライマーU-300KZ	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
プライマーCS-100	第4類第1石油類（非水溶性液体）	II
プライマーNo.40	第4類第1石油類（非水溶性液体）	II
トップコートH-A	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
トップコートH-B	第4類第1石油類（非水溶性液体）	II
トップコートAC-A	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
トップコートAC-B	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
トップコートFフッソ-A	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
トップコートFフッソ-B	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III

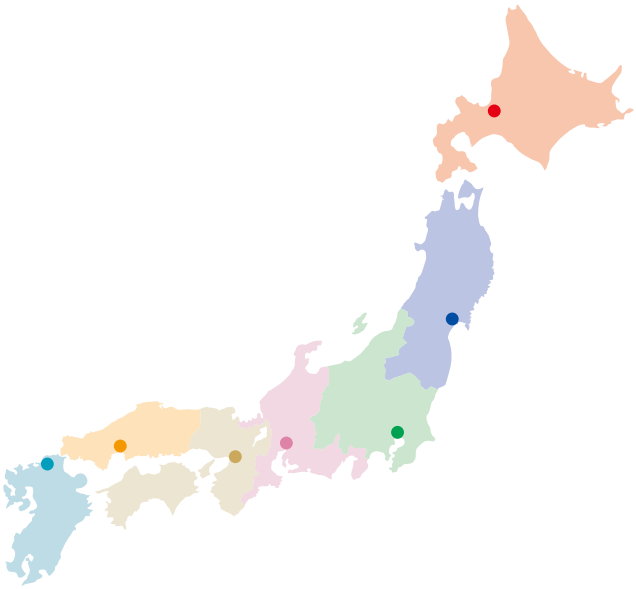
品名	消防法	危険等級
トップコートTM-A	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
トップコートTM-B	第4類第1石油類（非水溶性液体）	II
トップコートS-A	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
トップコートUシルバー	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
トップコートAシーラー	第4類第1石油類（非水溶性液体）	II
EU-ONE立上り添加剤	第4類第3石油類（非水溶性液体）	III
EU-ONE促進剤	第4類第3石油類（非水溶性液体）	III
アーバンルーフ減粘剤ECO	第4類第3石油類（非水溶性液体）	III
YM-800T	第4類第3石油類（非水溶性液体）	III
アーバンルーフ促進剤	第4類第3石油類（非水溶性液体）	III
アーバンルーフ接着剤ECO-B	第4類第2石油類（非水溶性液体）	III
CV-Fシート用接着剤	第4類第1石油類（非水溶性液体）	II

アーバンルーフ製品一覧

種別	品名	種類	荷姿	規格／主成分	備考
防水材	EU-ONE	1成分形湿気硬化型ウレタン防水材（環境対応型平場用）	10kg／缶	カラーウレタン　JIS A6021　高伸長形	角缶タイプ（グレー）
	U-8000	2成分形反応硬化型ウレタン防水材（平場用）	主剤 7kg、硬化剤 7kg、 14kg／セット	カラーウレタン　JIS A6021　高伸長形	角缶タイプ、ペール缶タイプ（グレー、グリーン）
	U-8000HC		主剤 7kg、硬化剤 7kg、 14kg／セット		角缶タイプ（グレー）
	アーバンルーフTL	2成分形反応硬化型ウレタン防水材（立上り用）	主剤 7kg、硬化剤 7kg、 14kg／セット	カラーウレタン　JIS A6021　高伸長形	角缶タイプ（グレー）
床材	U-5000	2成分形反応硬化型ウレタン床材	主剤10kg、硬化剤10kg、 20kg／セット	カラーウレタン	丸缶タイプ（グレー、グリーン）
プライマー	U-300K	1成分形湿気硬化型ウレタンプライマー	9kg／缶	ウレタン樹脂	
	U-300KZ		16kg／缶		
	E-100	2成分形水性エポキシプライマー	主剤 4kg、硬化剤 4kg ×2セット／缶16kgセット	水性エポキシ樹脂	
	No.40	1成分形湿気硬化型ウレタンプライマー	500ml／缶	ウレタン樹脂	
	CS-100				
トップコート	トップコートH艶無し	2成分形反応硬化型保護塗料	主剤 7kg、硬化剤7kg、 14kg／セット	アクリルウレタン樹脂	艶無し（標準品） 艶有り（受注生産品）
	トップコートH艶有り				
	トップコートAC		主剤 3kg、硬化剤12kg、 15kg／セット		艶無し（受注生産品） 艶有り（受注生産品）
	トップコートTM				
	トップコートUシルバー	1成分形湿気硬化型保護塗料	18kg／缶	ウレタン系アルミペイント	
	トップコートFフッソ	2成分形反応硬化型保護塗料	主剤 2kg、硬化剤 6kg、 8 kg／セット	フッ素樹脂系塗料	艶有り（グレー、ライトグレー）
	トップコートA	アクリルエマルション系保護塗料	18kg／缶	アクリルエマルション	骨材入り（受注生産品）
	トップコートAシーラー	トップコートA専用下塗り材	16kg／缶	ウレタン樹脂	
	トップコートE	2成分形水性アクリルウレタン塗料	主剤0.5kg、硬化剤 7.5kg × 2セット／缶 16kgセット	水性アクリルウレタン樹脂	艶有り（ライトグレー）
	トップコートS	2成分形水性アクリルウレタン塗料（高反射塗料）	主剤0.5kg、硬化剤 5kg × 2セット／缶 11kgセット		艶有り（ライトグレー、ライトグリーン：受注生産品）
	アーバントップSR	2成分形アクリルシリコーン系塗料	主剤6kg、硬化剤9kg、15kg／セット	アクリルシリコーン系	艶有り（グレー、ライトグレー、グリーン：受注生産品）
副資材	EU-ONE立上り用添加剤	EU-ONE専用液状増粘剤	500g／缶		
	EU-ONE促進剤	EU-ONE専用硬化促進剤	1kg×10缶／箱		硬化触媒
	YM-800T	U-8000、U-8000HC、専用液状増粘剤	3kg／缶、300g×10缶／箱		
	アーバンルーフ促進剤	U-8000、U-8000HC、アーバンルーフTL用硬化促進剤	3kg／缶		硬化触媒
	アーバンルーフ減粘剤ECO	EU-ONE、U-8000用希釈剤	16kg／缶		粘度低減剤
	G-クロス	補強用クロス	1.04m×100m巻	ガラス繊維	
	G-クロス　ソフトタイプ		1.00m×100m巻	ガラス繊維	
	Gカットクロス#100		100mm×100m×10巻	ガラス繊維、ビニロン繊維	
	アーバンルーフジョイントテープ	CV-Fシート ジョイント処理用テープ	50mm×50m巻		
	アーバンルーフCV-Fシート	通気緩衝シート	1.02m×50m巻	不織布3層構造	
	アーバンルーフCV-Fシートグリーン		1.00m×50m巻	不織布2層構造	
	CV-Fシート用接着剤	CV-Fシート用接着剤	15kg／缶	クロロプレン系1成分形	
	アーバンルーフ接着剤 ECO	CV-Fシート用接着剤（環境対応型）	主剤7kg、硬化剤 7kg、14kg／セット	ウレタンエポキシ樹脂	
	アーバンルーフHVSシートグリーン	通気緩衝シート	1.04m×25m巻	不織布、アスファルト粘着層	
	アーバンルーフUMシート	通気緩衝シート	1.04m×15m巻	改質アスファルト	
	UMシート用ジョイントテープ	UMシート、HVSシートグリーン ジョイント処理用テープ	30mm×50m巻		
	UMシート用端末テープ	UMシート、HVSシートグリーン 端末処理用テープ	75mm×25m巻		
	UMシート用補強クロス	UMシート用ジョイント補強クロス	140mm×50m巻		
	アーバンルーフ　ステンレス脱気筒	脱気筒	1ヶ／箱　台座　　直径220mm　高さ200mm	ABS樹脂・ステンレスキャップ付	一般用
	アーバンルーフベンチレーションSP		1ヶ／箱　台座200mm×120mm　高さ120mm	アルミ鋳造品	端部用
	エストップ#20	粗面仕上げ用ゴムチップ	12kg／袋	ゴムチップ	トップコートに混入
	フェライト	粗面仕上げ用骨材	500g×12袋／箱	無機系特殊骨材	
	SPチップ	弾性舗装防水用ゴムチップ	15kg／袋	ゴムチップ	SP-1工法に使用
	アーバンルーフ　クイッ急NB	1成分形速乾性下地処理用シーリング材	320ml×10本／2箱	ウレタン樹脂	下地処理用
	プライマーE-100用粉体	プライマーE-100専用粉体	4kg×2袋／箱		

※ 詳細は、製品安全シート（MSDS）をご参照ください。

ハマタイトネットワーク



北海道カンパニー

〒060-0041	札幌市中央区大通東7-12		TEL.011-241-5115
道東支店	〒084-0904	釧路市新富士3-7-12	TEL.0154-51-8481
道東支店帯広	〒080-0013	帯広市西三条南17-1-1(ミキコーポ)	TEL.0155-25-4346
道南支店	〒053-0007	苫小牧市船見町2-11-1	TEL.0144-34-2941
旭川営業所	〒078-8348	旭川市東光8条3-3-10	TEL.0166-32-5344
函館営業所	〒040-0077	函館市吉川町6-5	TEL.0138-41-1265

東北カンパニー

〒984-0002	仙台市若林区卸町東5-1-6		TEL.022-390-1733
郡山支店	〒963-0101	郡山市安積町日出山1-16	TEL.024-942-2440
八戸支店	〒031-0073	八戸市売市字小待78	TEL.0178-45-0111
北上営業所	〒024-0072	北上市北鬼柳19-85-1(和江ビル)	TEL.0197-77-5661

東京ハマタイトカンパニー

〒141-0031	東京都品川区西五反田7-20-9(KDX西五反田ビル)		TEL.03-5435-6801

関東カンパニー

〒141-0031	東京都品川区西五反田7-20-9(KDX西五反田ビル)		TEL.03-5719-7331
茨城支店	〒310-0836	水戸市元吉田町260-3	TEL.029-304-5266
栃木支店	〒323-0029	小山市城北3-2-9	TEL.0285-23-2944
神奈川支店	〒254-0019	平塚市西真土3-11-6	TEL.0463-53-4911
群馬支店	〒370-0014	高崎市元島名町1113-1	TEL.027-353-5221
鹿島営業所	〒314-0025	鹿嶋市下塙1175-2	TEL.0299-82-0661
長野支店	〒381-2223	長野市里島77	TEL.026-293-5541
千葉支店	〒264-0036	千葉市若葉区殿台町90-1(式田ビル)	TEL.043-287-7400
新潟支店	〒950-0953	新潟市中央区大島169番地	TEL.025-285-2141

中部カンパニー

〒460-0012	名古屋市中区千代田4-23-2(第五富士ビル)		TEL.052-331-9068
北陸支店	〒939-8214	富山市黒崎270	TEL.076-421-7290
浜松支店	〒433-8118	浜松市中区高丘西2-4-17	TEL.053-439-5101
静岡営業所	〒422-8063	静岡市駿河区馬渕3-2-25(T・K BLD)	TEL.054-289-7123

近畿カンパニー

〒550-0001	大阪市西区土佐堀1-4-11(金鳥土佐堀ビル)		TEL.06-6446-6704
兵庫支店	〒675-0115	加古川市平岡町一色591-1	TEL.079-435-1843
和歌山支店	〒641-0007	和歌山市小雑賀3-5-15	TEL.073-424-7216
高松支店	〒761-0301	高松市林町2510ー1	TEL.087-867-7030
松山支店	〒790-0011	松山市千舟町8-78-4	TEL.089-941-3765
高知支店	〒780-0081	高知市北川添10-20	TEL.088-883-5681

中国カンパニー

〒733-0035	広島市西区南観音6-7-32		TEL.082-233-8951
岡山支店	〒700-0927	岡山市北区西古松2-3-8	TEL.086-805-2681
山口支店	〒745-0851	周南市大字徳山6750-22	TEL.0834-31-8885
福山営業所	〒721-0974	福山市東深津町3-5-6	TEL.0849-28-3200

九州カンパニー

〒810-0022	福岡市中央区薬院1-7-4		TEL.092-711-8535
北九州支店	〒800-0365	京都郡苅田町大字苅田3787-66(苅田臨空産業団地内)	TEL.093-434-9004
長崎支店	〒851-2128	西彼杵郡長与町嬉里郷378-3	TEL.095-887-4744
大分支店	〒870-0905	大分市向原西1-8-2	TEL.097-558-5656
南九州支店	〒861-8035	熊本市東区御領6-8-20	TEL.096-380-5811
宮崎支店	〒880-0001	宮崎市橘通西2-4-20(アクア宮崎ビル)	TEL.0985-25-9979
沖縄支店	〒905-0002	沖縄県那覇市曙3-11-7	TEL.098-860-9086

※商品等につきましては、各地域の支店・営業所までお問い合わせください。

横浜ゴムMBジャパン株式会社　販売促進部

〒141-0031　東京都品川区西五反田1-30-2(ウィン五反田ビル)
TEL.03-5745-9864
http://www.yrc.co.jp/hamatite/

※本カタログ記載商品は改良のため、仕様は予告なく変更させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(2RP 1403) 1312 R8 KBI SPC YRC (AD)